

ECHO

エコー誌



ライオンズクラブ国際協会 331-A 地区

No.495

<http://www.lc331-a.jp>



■ガバナーズローガン

希望に満ちた夢への挑戦

特集

退任挨拶
第 57 回地区年次大会報告
委員会報告
東日本大震災
クラブ報告



2011.6

芦別ライオンズクラブ

〒079-1371 芦別市上芦別町22番地 山林 ひとみ宅内

TEL 0124-23-0088

FAX 0124-23-0385

http://www.11.plala.or.jp/ashibetsu-lc E-mail a-lc5r1z@cameo.plala.or.jp

会長スローガン 『**明るい笑顔で 真心奉仕**』



「ライオンズの森」にて緑の少年団と共に森の清掃活動や小鳥の巣箱制作設置を通じ自然を守り森に生きる動物を大切にする事を学びました。(2010年9月25日-旭が丘公園)



25回を数える「青少年健全育成事業」として7チーム、60名余の小学生参加によるミニバスケットボール大会を開催。(2010年11月13日-芦別市総合体育館)



第24回ジュニアスラローム大会が、開催され今年は6歳から小学校6年生までの約90名が参加して好天のゲレンデに華麗なシュプールを描いていました。メダルと賞状を手にした将来のオリンピック選手たちの目は輝きを増しておりました。

(2011年2月27日-芦別国設スキー場)



会長 本保 覚 幹事 末永 真一 会計 請川 勝也

(アイウエオ順)

L相河 孔明	L浅井 富雄	L伊藤 輝雄	L伊藤 良作	L石垣 志郎	L石黒 政司	L池田 昇	L植田 義昭	L請川 勝也	L浦山 和雄
L大山 義広	L尾矢 茂	L兼好 哲哉	L川原 茂	L川村 伸一	L梶野 秀雄	L加納 美樹	L郡 奈美雄	L今野 富男	L小林 孝二
L小塚 弘昌	L小室 一征	L坂井哲太郎	L斉藤 進	L斉藤 勝美	L齋藤 孝彰	L坂本 恭二	L佐藤 昭夫	L定田 明	L東海林俊道
L末永 真一	L滝沢 和	L高瀬 敏光	L高砂 晴紀	L田森 良隆	L高橋勝次郎	L高島 義勝	L滝澤 量久	L竹村 賢一	L千葉 義明
L戸邊 信一	L中川 栄子	L西本 勝昭	L沼田 哲男	L野崎 光男	L橋爪 忠幸	L林 守	L早坂 昌文	L樋口 肇	L日山 晋
L藤元 博	L藤岡 慎吾	L本保 覚	L松川 良一	L松田 春美	L水本 義男	L水上 博樹	L山本 隆	L柳瀬 広道	L吉岡 隆広
L吉井 忠									山林ひとみ (事務局員)

2010-2011年度

ライオンズクラブ国際会長

シド L・スクラッグス三世 国際会長
(Sid L. Scruggs III)

ガバナーズローガン

希望の光



2010-2011年度

ライオンズクラブ国際協会 331-A地区

山口 富雄 331-A地区ガバナー
(tomio yamaguchi)

ガバナーズローガン

希望に満ちた夢への挑戦

1. 時代に合った組織の再構築
2. 絆を大切に
3. 広い夢



目次 Contents

■ 国際会長テーマー	1	■ 331-A地区第2R第2Z 8クラブ交流会を実施しました!!	19
■ 地区ガバナー退任挨拶 札幌クラークライオンズクラブ L 山口 富雄	2	■ 合同事務局運営委員会活動報告	20
■ 幹事・会計・事務局長退任挨拶	3	■ 特集：東日本大震災被災地への支援	22
■ ゾーン・チェアパーソン退任挨拶	4	■ YE委員会だより	27
■ 地区委員会役員退任挨拶	8	■ 北の咆哮 会員自由投稿	30
■ 2010-2011年度 ライオンズクラブ国際331-A地区 第4回キャビネット会議	11	■ クラブ報告	36
■ 第57回地区年次大会		札幌大通ライオンズクラブ	36
第57回地区年次大会大会誌記念アクティビティ	12	サッポロシニアライオンズクラブ	
第57回地区年次大会	14	札幌オーロラライオンズクラブ	38
■ 委員会報告	17	札幌時計台ライオンズクラブ	39
「上位リーダーシップセミナー」のご報告	16	美唄ライオンズクラブ	40
ニューメンバーオリエンテーション	17	江別ライオンズクラブ	41
「第3回クラブホームページ作成セミナー」開催!	18	■ 札幌新星ライオンズクラブ認証	42
		■ 新入会員のご紹介	43
		■ 会員動向・アクティビティ活動状況	46

地区ガバナー退任挨拶



331-A地区ガバナー
山口 富雄

ガバナースローガン

希望に満ちた 夢への挑戦

- 1 時代に合った組織の再構築
- 2 絆を大切に
- 3 広い夢

Profile

- 所属 R Z
第2 R 第2 Z
- 所属クラブ
札幌クラークライオンズクラブ
- 勤務先
(株)やまもく 会長
〒063-0868 札幌市西区八軒8条東1丁目2
TEL 011-644-3888 FAX 011-644-3891

第57回地区年次大会も、高野大会委員長はじめホストクラブ、会員皆様のご協力をいただき無事終了し退任の挨拶を申し上げることになりました。

昨年(2010年)7月、オーストラリア・シドニーに於いて331-A地区ガバナーに就任し1年が過ぎようとしております。

社会的構造の変化に対応する不安、先が見えない政局、社会が進行する中、3月11日東日本大震災が発生し、日本地震観測が始まって以来の大震災、多くの貴い命が失われ犠牲となられた方々にはご冥福をお祈りすると共に被災された皆様に心よりお見舞いを申し上げます。

この度の大震災で我々は改めて現在の慢性化した当たり前と考える社会に問題点を投げかけられたと思います。

ライオンズクラブ会員も社会奉仕団体として可能な限り地域の人たちを支援し地域復興を少しでも支えて行くべきでしょう。震災後、複合を通じ義捐金協力の依頼を受け各クラブへお願いをしたところ、全クラブより早速の義捐金拠出を頂きLCIFへ送金致しました。皆様の温かい善意へ改めて敬意を表しますとともに、今回ほどシンド・スクラッグス国際会長のテーマ「希望の光」が大切だと深く考えさせられました。

今期は331-A地区の将来を見据えクラブをより強くする為の布石となるよう「希望に満ちた夢への挑戦」スローガンを基に、3点の基本方針の時代に合った組織の再構築へキャビネット一体となって挑戦させていただきま

した。
初めに各リジョンの皆様になんとかご理解

を得て、リジョン・チェアパーソンを今期より廃止させていただき、ゾーン・チェアパーソンの権限を大きくしゾーンのPR委員も委任致しました。又ゾーン委員にはYE委員兼務をお願いしキャビネット人員の削減をはかりましたが、職務が広範囲となりゾーン委員の皆様にはご負担を掛けた面もあったことと思います。

又、各クラブに将来のビジョンを考えていただき、その結果クラブの合併、解散そして新クラブ結成となり、331-A地区は期首76クラブが71クラブとなり今後は大きな力となって活動発展していただけることを期待しております。

一方、各クラブとの情報の迅速、事務処理の合理化の為インターネット化を図り、時代に合った情報環境を推進し各クラブのホームページを立ち上げていただくため3回のセミナーを開催し、66クラブがクラブのホームページを開設することが出来ました。

経験がある歴代会長等より、「最近はやライオンズ基本的知識が足りない会員が多く、もっと新入会員の時から知ってもらわなければならない」との指摘を受け、新入会員オリエンテーションの時に使えるDVDを作製、各クラブに配布致しました。

その期のキャビネットは、会員、クラブのため何を構築したか問われると思います。

331-A地区の未来に夢と希望が持てるよう役員、委員長の協力をいただきガバナーとしての任務を終えることが出来ました。支えてくださったキャビネット構成員、ホストクラブ、会員の皆様に心より感謝を申し上げます。ご挨拶とします。ありがとうございます。



幹事・会計・事務局長退任挨拶



キャビネット幹事退任挨拶



札幌クラークライオンズクラブ

とみもと そういち
富本 荘一

トミヤ商事株式会社 代表取締役
〒065-0020
北海道札幌市東区北20条東1丁目4-15
TEL: 011-753-1038 FAX: 011-753-7878

一年間の任期中、キャビネット役員、各クラブの会長、会員の各ライオンには、大変ご協力ご支援をいただきました事、心より感謝申し上げます。

ガバナーL山口富雄は長い年月キャビネットに関与しており、ライオンズの色々な経験、知識、幅広い人脈を持っており、自分の担当している間に検討していたことを実現しようと考えておられましたが、大体のことは実現したと思います。

基本方針の組織の再構築は大英断だったと思います。なぜならクラブの解散は国際協会に対し、ガバナーの汚点となるからです。しかし、クラブの合併、解散して新クラブの結成といったことに対し当事者でありますライオンの各位のエネルギーに敬意を表しますとともに、そこまで行き着くまでの決心、努力、特に説得は大変だったと思います。

ゾーン・チェアパーソン、ゾーン委員、各委員長、副委員長さんは、大変フットワークよく動いていただきました。何

よりもコミュニケーションが取れていたことと、ガバナーの意図していることを十分に理解され行動されておられました。内輪よりキャビネットの絆が出来上がっていたことと思います。

各クラブ例会、クラブアクティビティ、クラブ周年行事等に参加して会員の方々までキャビネット方針を言われましたことにはおどろかされました。

千年に一度のといわれています東日本大震災に対し多くの会員より援助金をキャビネットの判断でまだまだ提出してほしい、足りなくなったら集めればとの電話やメールを頂きました事ありがたく思っています。これからまだまだ困っている被災地に対し提出すべきだと判断しています。被災地のみなさんが夢と希望もてる事を願っております。

キャビネットを担当する一年前とキャビネットを担当する一年間と約二年間にわたり色々と考え、行動してまいりましたが人との出会い、人との和、絆を持つことができましたことに感謝申し上げます。

キャビネット会計退任挨拶



札幌クラークライオンズクラブ

ほら ない しゅん
洞内 俊

株式会社洞内板金工業所 代表取締役
〒007-0834
札幌市東区北34条東7丁目
TEL: 011-721-0581 FAX: 011-721-0583

まずは、山口キャビネットが、会員の皆様に大変お世話になりました事、心からお礼申し上げます。

山口ガバナー基本方針である、組織の再構築、そして、最も大切にしている“絆”を育て、広い夢を持って1年間活動をして参りました。

会員減少の進む中お預かりした、財源を少したりとも無駄にする事無く、会計の任務を遂行出来ましたのも、メンバー皆様の御協力のおかげと感謝を致します。

そして、たくさんのメンバーとの出会いにより、貴重な経験も私にとっては多くの財産を与えられたものです。

その糧を大事に育てて、今後のライオンズ活動に邁進して行く所存であります。

第57回地区年次大会も無事終了する事が出来、残り1ヶ月余りとなりました、会員の皆様には心よりお礼と感謝を申し上げ、退任の御挨拶と致します。

キャビネット事務局長退任挨拶



札幌アカシアライオンズクラブ

まえ かわ ただ お
前川 忠男

株式会社前川不動産鑑定事務所 代表取締役
〒064-0806
札幌市中央区南6条西13丁目3-12
TEL: 011-551-7345 FAX: 011-513-7739

今期、山口地区ガバナーのもと、キャビネット事務局長等の要職を拝命致しましたが、早いもので6月末をもって退任することとなりました。

他クラブの者が四役に加わったのは久しぶりかと思いますが、ガバナーをはじめクラークLCの皆様と大変親しく仕事をさせて頂き、新しい絆が出来たことを大変喜んでおります。キャビネット事務局長としての仕事は一生懸命やっただけではありませんが、皆様には多々御迷惑をお掛け

したのではないかと考えております。

今期、大過なく終了できますことは、地区役員はもとより、331-A地区内の会員の皆様の御協力の賜と厚く感謝を申し上げます。

本当に一年間有難うございました。





第2R第1Zゾーン・チェアパーソン

札幌エルムライオンズクラブ
の 能 登 昭 夫

株式会社能登水産 代表取締役
〒060-0053
札幌市中央区南3条東1丁目
TEL: 011-241-4436 FAX: 011-231-3045

今期、L山口富雄地区ガバナーのもと、ゾーン・チェアパーソンを引き受けさせて頂き一年の任期が終わります。4回の諮問委員会ではゾーン内の各クラブの会長・出席役員の皆様には大変お世話になり、暖かいご協力に心より感謝申し上げます。

また8クラブの訪問例会では、メンバーとの素晴らしい出会いと絆を感じております。時に会員減少、ACTの見直し、会員の増強、退会防止に各クラブは大変な苦勞をしているように感じました。

さらに定山溪LCの交通安全祈願祭、すすきのLCの少年少女柔道大会、大通LCのハンディキャップスキー大会の各ACTを斉藤嘉昭ゾーン委員と見学させて頂きました。感動の連続で、知恵を出し合い、和をもった活動は私にとっては大変得るものがありました。この貴重な体験をライオンズの高揚に向けて今後の活動に生かしていきたいと思っております。

各クラブのますますのご発展と会員各位のご健勝を祈念申し上げ、退任挨拶といたします。

なお東日本大震災におきまして、ゾーンの各クラブから多大なご支援を頂き、感謝申し上げます。ありがとうございました。



第1R第1Zゾーン・チェアパーソン

札幌赤レンガライオンズクラブ
か とう たけ し
加 藤 武 士

株式会社日本調査会化学鑑識センター 代表取締役
〒065-0023
札幌市東区北23条東17丁目3-1
TEL: 011-781-7001 FAX: 011-781-7076

今期、第1リジョン第1ゾーン、ゾーンチェアパーソンとしての任を受け、残すところ数ヶ月でその任期を終えようとしております。

山口ガバナーのもと、ガバナー方針を各クラブ訪問や諮問委員会等を通してお願いしてまいりましたが、各クラブの会長さんはじめ、会員皆様のご努力で、それぞれ優劣つけがたいアクティビティの数々に心から賞賛と感謝を申し上げる次第です。

また、山口ガバナーはじめキャビネット役員の皆様方、そして第1リジョン第1ゾーンの会長さんはじめ各ライオンの皆様方には大変お世話になりました。

この1年を通して忘れられない沢山の友情をも得られました。

ここに厚く御礼申し上げ、退任の挨拶といたします。



第2R第2Zゾーン・チェアパーソン

札幌パイオニアライオンズクラブ
さ か ち と し の ぶ
坂 地 俊 信

行政書士法人桃山総合事務所 代表
〒060-0807
札幌市北区北7条西2丁目6-37 山京ビル818号
TEL: 011-736-7590 FAX: 011-736-7591

任期を終えるにあたりまして、退任のご挨拶を申し上げます。まずは在任中に賜りました御支援、御協力に心より御礼を申し上げます。次第であります。

若輩者の私が、一年間なんとか職務を続けることができましたのも、ガバナーをはじめキャビネット役員の方々のご指導のおかげでございます。そして、なによりも2R2Zの8クラブのメンバーの皆様のお支援、御協力があったからこそでございます。

感謝の気持ちはとても紙面に表現しきれないものではないかもしれませんが、重ねて御礼申し上げます。退任の挨拶といたします。誠にありがとうございました。



第1R第2Zゾーン・チェアパーソン

札幌中央ライオンズクラブ
ふ じ た ひ ら く
藤 田 開

株式会社六書堂 代表取締役社長
〒001-0036
札幌市北区北36条西2丁目1-12
TEL: 011-727-0616 FAX: 011-727-0636

昨年7月より、山口ガバナーのもとZCを務めさせて頂き、まことにありがとうございました。

特に我が1R2Zの各クラブの皆様、各活動を通じ御協力いただき感謝申し上げます。

今回、クラブ訪問を通して一番感じたのは各クラブが創意工夫し、クラブ活性化に真剣に取り組んでいることです。各会長、三役の努力をつくづく感じました。例えば成果が少なくともその活動が次期へと継続され、各クラブで問題点が共有されることが大切であると思います。

さて、今期の最後に未曾有の大震災がございました。今こそ、ライオンズのすべての力を発揮するときだと思っております。4月中旬、私も被災地に動物の為の救援物資を持って、行ってきました。

ライオンズマンの知恵を生かせばライオンズの奉仕活動は無敵です。

ライオンズ活性化の原点は今ここにあるはずですが、みんなで、協力し息の長い奉仕活動をしていこうではありませんか！



ゾーン・チェアパーソン退任挨拶



第4R第1Zゾーン・チェアパーソン

美唄ライオンズクラブ

あずま やす ゆき
東 安 行

空知マルキ株式会社 代表取締役社長
〒079-0174
美唄市峰延町本町
TEL : 0126-62-2211 FAX : 0126-62-2919

昨年、シドニーでの感動的な第93回世界大会の後、山口地区ガバナーの基本方針・活動方針・ガバナー協議会の方針を、4R1Zゾーンチェアパーソンとして、4回に渡ります諮問委員会などを通して、各クラブに伝えると共に、各クラブとの潤滑剤として、1年間、会員各位には、大変お世話になりました。

また、この間、キャビネット副幹事、MERL特別委員会委員としても、活動の場を与えて頂き、ありがとうございました。

私事ですが、昨年10月の健康診断で、食道にポリープが発見され、精密検査の結果「食道癌及び膵臓への遠隔リンパ節転移癌」ステージ4と診断され1月24日より約2カ月間入院、放射線治療、化学療法（抗がん剤治療）を受け、その後も、一カ月に1回6日間抗がん剤治療を受けています。おかげさまで癌細胞も小さくなったようですし、気力・体力・免疫力を高めて、癌と付き合っ行きたいと思えます。入院中には、山口地区ガバナーを始め多くのメンバーには、お多用中にも関わらず、お見舞いに来て頂き、誠にありがとうございました。

終わりに今期、山口キャビネットの集大成であります「第57回地区年次大会」も成功裏に、無事終了しました事と、多くのクラブメンバーのこの1年間のご協力に深甚なる感謝を申し述べると共に、各クラブの益々の発展とメンバー各位のご健勝とご活躍をご祈念申し上げ退任の御挨拶とさせていただきます。



第3R第1Zゾーン・チェアパーソン

札幌ポプラライオンズクラブ

おお くら みのる
大 倉 実

五代大倉商事株式会社 代表取締役
〒062-0032
札幌市豊平区西岡2条3丁目1-6
TEL : 011-854-5506 FAX : 011-854-7091

1年間を終えて

前半は定型スケジュールをこなし、それなりに多忙ではありましたが、それ程の難題はなく、スムーズに経過したと記憶しています。

後半は東日本大震災、そして第4回CAB会議の異例の一時間延長と、対応しなければならない件が立て続けに起こり、その問題は年次大会迄及び苦慮しました。

しかしながら、331-A地区のメンバーの幸福を願って、逃げずに立ち向かう姿、そして絆を大切に山口ガバナーと共に仕事を出来た事に感謝しております。

4回にわたるガバナー諮問委員会も、3R1Zの協力で大きな問題もなく、終了しました事を心から感謝いたしております。そしてゾーン運営委員の宮本L、滝本Lの二人の活躍で助けられました。ありがとう！



第4R第2Zゾーン・チェアパーソン

長沼ライオンズクラブ

まつ しま たか とし
松 嶋 隆 敏

有限会社松嶋電気商会 代表取締役
〒069-1331
夕張郡長沼町銀座1丁目1番13号
TEL : 0123-88-2011 FAX : 0123-88-0061

今期1年間第4R第2Zの皆様方には、大変多くのご支援とご協力を頂き、誠に有難うございました。

ゾーン・チェアパーソンとしての大役を大過なく任期を終えることが出来ました。

また、ガバナーの強力なリーダーシップによるご指導とキャビネット役員の皆様には大変お世話になりました、誠に有難うございます。

最後に各クラブのご協力に感謝し、今後益々のご活躍とご発展を祈念して退任の挨拶と致します。



第3R第2Zゾーン・チェアパーソン

札幌ライラックライオンズクラブ

たか はし ひで き
高 橋 秀 樹

財団法人聖山会(藤野聖山園) 理事長
〒061-2283
札幌市南区藤野3条2丁目1番57号 聖山園ビル
TEL : 011-592-5700 FAX : 011-592-5801

第3リジョン第2ゾーンの六つのライオンズクラブの皆さん、大変お世話になり有り難うございました。ゾーン・チェアパーソンとして、各々のライオンズクラブ発展に努めたいと考えておりましたが、私の力不足でそれぞれが抱えている悩みの問題解決に至らなかった事等々、大変申し訳なく思っております。

解散を余儀無くされたライオンズクラブや、新しいライオンズクラブの結成等、ライオンズクラブメンバー各位の努力とその決断に敬意を表したいと存じます。

山口ガバナーのスローガン「希望に満ちた夢への挑戦」が優しく見守ってくれており、必ずや将来への発展につながって行く事と信じております。

退任にあたりライオンズクラブメンバーに感謝を申し上げ、挨拶といたします。



第5R第3Zゾーン・チェアパーソン

秩父別ライオンズクラブ

てら きよ まさ ひろ
寺 迫 公 裕

寺迫工業株式会社 代表取締役社長
〒078-2102
雨竜郡秩父別町1298番地の28
TEL : 0164-33-2530 FAX : 0164-33-2234

退任にあたりお礼のご挨拶を申し上げます。

L山口富雄331-A地区・ガバナースローガン「希望に満ちた夢への挑戦」の下、ゾーンチェアパーソンとして力不足の私でございましたが、1年間恙無く勤める事が出来ました。これもひとえにキャビネット、ゾーンの皆様の深いご理解と温かいご協力の賜物と心よりお礼を申し上げますと共に、地元秩父別LCのご支援に対しましても衷心より厚く感謝申し上げます。

これからもライオンズのモットーである「ウィサーブ」を唱えながら活動をして行く所存ですので、宜しくお願い申し上げ退任のご挨拶とさせていただきます。



第5R第1Zゾーン・チェアパーソン

滝川ライオンズクラブ

こ ばやし つとむ
小 林 勉

小林設備工業株式会社 代表取締役社長
〒073-0016
滝川市一の坂町東3-6-10
TEL : 0125-22-2605 FAX : 0125-23-5565

今期、第5R第1Zのゾーン・チェアパーソンを拝命して、早くも一年が過ぎようとしています。L山口ガバナーの人間性にあふれる指導力と1Z6クラブの役員、並びに会員の皆様方の御理解と御協力のおかげで、何とか大過なく役目を終えられることが出来そうです。

思い起こせば、最初は五里霧中の状態でしたが、キャビネット会議やMERL委員会に出席するごとに、ライオンズの活動とゾーン・チェアパーソンの役目を理解していきました。又、大変貴重な経験をさせていただきました。今後はこの経験を生かして、少しでもライオンズクラブの活動に協力して行きたいと思っております。

最後になりますが、キャビネットの役員の皆様と第5R第1Zの会員の皆様に心よりの感謝とクラブの発展を祈念して、退任の挨拶といたします。



第6R第1Zゾーン・チェアパーソン

江別グリーンライオンズクラブ

みや ぎさ たか し
宮 崎 孝 志

宮崎自動車工業株式会社 代表取締役
〒069-0867
江別市元野幌147-8
TEL : 011-384-1500 FAX : 011-383-9582

6R1Zのゾーン・チェアパーソンを仰せつかって間もなく1年を迎えようとしています。

この間、役職を通して多くの人々と出会いそして様々な経験をさせていただきました。

特に各クラブ訪問の際には、温かな歓迎おもてなしを頂き、さらにクラブの活動におきましては、地域社会に根付いた特徴あるアクティビティ等を拝見し見聞を広めさせて頂き有り難う御座いました。

L政田ゾーン委員と共に各クラブとキャビネットとの橋渡し役としてお役に立てたかは定かでは有りませんが、ひとえに皆様の暖かい友情とご指導、ご協力に重ねて感謝お礼申し上げ退任の挨拶に代えさせていただきます。



第5R第2Zゾーン・チェアパーソン

奈井江ライオンズクラブ

さ さ き ま さ お
笹 木 正 男

奈井江町 町議会議長
〒079-0302
空知郡奈井江町字奈井江1105-2
TEL : 0125-65-4731 FAX : 0125-65-4731

退任にあたりお礼の挨拶を申し上げます。

早いもので最後の諮問委員会にて、次期ゾーン・チェアパーソンに引継ぎをする事ができました。これもひとえに4クラブのご協力のお陰と感謝を申し上げます。

初めての、キャビネット会議に出席して責任の重大さを実感したところです。そしてマール特別委員会を5回開催されて、山口ガバナーのスローガンや思いを語り合いましたし、ZCPの座談会を持たれて活動方針等について、より認識を深める事ができました。

A地区全体ではクラブ数の増減はありますが、各クラブは創意工夫して地域に根ざした活動がなされております。クラブの活力を生む為には、年輩者の発言を控えて、若者の芽を育てる気持が大切だと思います。ウィサーブを基本にして、軽スポーツや懇親を行いながら魅力あるクラブ運営に努めてほしいと思います。

皆様方のご多幸と第57回年次大会の成功をご祈念申し上げますお礼の言葉と致します。



Liberty (自由) Intelligence (知性) Our (我々の) Nation's (国の) Safety (安全)
自由を守り、知性を重んじ、われわれの国の安全をはかる

ゾーン・チェアパーソン退任挨拶



第6R第2Zゾーン・チェアパーソン

千歳ライオンズクラブ

くたにだ あきら
九谷田 旭

ホンダカーズ千歳 代表取締役

〒066-0037

千歳市新富3丁目2-2

TEL: 0123-24-1166 FAX: 0123-24-1170

第6R第2ZのZCとしての大役も、はや一年を過ぎようとしております。

東日本大震災の支援物資として331-A地区から粉ミルクをトラックで輸送。ZCとして粉ミルクをいろいろな店舗で購入し、またクラブからの粉ミルクも車に積んでキャビネットまでお届けしたことなど記憶に残る出来事が多くありました。

この一年、素晴らしい多くのライオンメンバーと知り合い、学ぶことが沢山ありました。数々の貴重な経験と成果を心の糧として、今後の活動に生かしたいと思っております。

私を支えていただきましたZC L宮崎、地区YE・ゾーン委員のL政田とL寺西、そして格別のご尽力を頂きました第6R第2Zの各クラブの皆様にご心から感謝申し上げます、退任の挨拶と致します。

— For The Customer With Customer —

OA機器による ビジネスサポートをご提案

省エネ

高生産性

コスト削減

新世代デジタルフルカラー複合機



OA機器・オフィス家具・OAサプライ・事務用品

TOMIYA トミヤ商事株式会社

代表取締役 富本 荘一

〒065-0020 札幌市東区北20条東1丁目4-15

TEL(011)753-1038(代) FAX(011)753-7878

<http://www.tomiyasyouji.co.jp/>



地区会員・エクステンション委員長

札幌わかばライオンズクラブ

み ま つよし
美 馬 剛

株式会社エコテック・ワン 代表取締役
〒061-3241
石狩市新港西3丁目749-9
TEL: 0133-74-2331 FAX: 0133-74-0690

初のキャビネット出向で、一年間多くの皆様に支えられ活動させていただきましたことに、心より御礼申し上げます。ガバナースローガンの『希望に満ちた夢への挑戦』に応えるため召集された、キャビネット役員の方々と共に時間を共有させていただいたことで、私自身多くの学びの機会を与えていただきました。箱庭の中で活動していたライオンズ感がとても広がり、私のライオンズライフの転機となる一年であったと感じております。キャビネット会議の度にそれぞれの役員の方々が、具体的に成果を積み重ねておられるのことに對し、なかなか結果の出せない委員長ではありましたが、一年間本当にありがとうございました。



地区年次大会委員長

札幌グリーンライオンズクラブ

たか の のり ゆき
高 野 倫 行

有限会社ヤマゲンタカノビル 代表取締役
〒060-0809
札幌市北区北9条西3丁目1-1
TEL: 011-727-3808 FAX: 011-727-3808

なにかからお話しすべきか、迷うところではありますが、まずは2R16ホストクラブに一方ならぬお世話になり職責を全うすることができたことに感謝いたします。

年次大会は一年の総決算であり重要事項の決議の場でもあります。

もう一つの特徴は「祭りの日」、「晴れの日」であります。ここに、集い、友情を温め、ライオンズを語らい、将来のライオンズ活動の糧とする日でもあります。

時に思うことは「We Serve」は日常の罪滅ぼしであると…

多くのブラザーズは結構ライオンズの活動が好きであり、誇りを持っておられるのが、うかがい知れます。小生「罪滅ぼし」でもブラザーズと同じに、この組織、議論、アクトに満足し誇りを持っております。

おわりに、浅学非才の小生を支えてくださった、大会事務局長L比護了造に心よりお礼いたします。

では、次はシアトルの国際大会でお会いいたしましょう。We Serve



地区YE委員長

札幌かがわライオンズクラブ

サイヤッド りえ
Sayyad 理江

- ① 札幌良導絡医学研究所 代表取締役
- ② 札幌しらかば台病院 リハビリテーション科専門医
- ① 〒005-0032
札幌市南区南32条西10丁目2-1-1F
TEL: 011-582-3131 FAX: 011-582-3343
- ② 〒062-0052
札幌市豊平区月寒2条18丁目7番26号
TEL: 011-852-8866 FAX: 011-852-8194

受入・派遣事業にご協力をいただきました皆様の愛情のおかげで、来日生も派遣生も感謝の気持ちと夢や希望を抱いて帰国しました。

今期はエクスカージョン・多くのライオンのアクティビティ協力とエコー誌にも多くの感動をいただきました。

委員も特に受入ホストファミリー不足の問題解決の為に基金制度導入案・地区YE委員確立案、PRのDVD制作とYE事業への愛情と熱意を持って真摯に取り組んで参りました。

私も多くを楽しく学ぶことができ、友愛が活動の糧となりました。任期終了の8月31日まで、YE事業により育まれる友好と相互理解の精神を次期に引き継いで参りたいと存じます。次年度も皆様の暖かいご協力をお願い申し上げます、退任のご挨拶とさせていただきます。



地区PR・ライオンズ情報委員長

札幌時計台ライオンズクラブ

やま だ せい じ
山 田 清 司

栄光通信機株式会社 代表取締役
〒063-0830
札幌市西区発寒10条2丁目5番43号
TEL: 011-669-2233 FAX: 011-669-2288

昨年6月28日から開催されたシドニー国際大会の取材からスタートした小生にとっては荷の重い大役も、この6回目のエコー誌を会員諸氏・関係者の皆様のお手元にお届けする事をもって、ほぼ終わろうとしています。

この間、不行届きや失敗の連続でもございましたが会員各位の絶大なる友情とご支援により無事責任を果たせそうでございます。

山口ガバナーのスローガン、そして重点項目の実現に向け、大笹副委員長をはじめ各委員の発案によりゾーンチェアパーソン座談会など様々な企画も関係ライオンのご協力により成功裏に終わる事ができました。

また沢山の広告協賛と記事投稿など、ライオンズの絆をこれほど実感した事はありませんでした。

最後に3月11日発生した未曾有の東北大災害への複合や地区ごと、そして各クラブ単位での支援活動にも感動致しました事を書き添え、1年間の感謝と御礼と致します。



地区委員会役員退任挨拶



地区ライオンズクエスト委員長

札幌北の杜ライオンズクラブ

きく た あき ふみ
菊田 昭文

有限会社クレッシェンド 代表取締役
〒069-0817
江別市野幌代々木町45-26
TEL: 011-391-6555 FAX: 011-852-5169

LC活動で特に理解していなかった活動。それがクエストでした。先生方を集めて教育する？LCが行うことではないのでは？などと思っていました。そんな私が今では、何とか一人でも多くの先生方にクエストを知って頂きたいという考えに変わりました。それほど良いプログラムと感じました。受講された先生方には「大変得るものが多くありました…」とアンケート等で沢山の感謝の言葉を頂きました。そう言われると、私自身も大変やりがいがあり充実した一年となりました。

日々の学校教育については先生方をお願いするしかありません。青少年育成に何か役立ててもらう為にクエストで応援していきたいものです。

また私自身としてL山口ガバナーの下、キャビネットでの活動をさせて頂きましたが、その中で他クラブの皆様方と関わり合いが持てた事が自分のスキルになり、これからのLC活動に役に立っていく事と思います。

今年度クエスト活動にご協力頂いた各クラブの皆様方、有難うございました。次年度も引き続きクエスト活動は続きます。宜しく願いいたします。



地区指導力育成委員長

札幌パイオニアライオンズクラブ

まる お まさ み
丸尾 正美

丸尾正美法律事務所 所長
〒060-0001
札幌市中央区北1条西10丁目原田ビル4階
TEL: 011-231-6313 FAX: 011-231-6315

「あっという間の1年でした」と言える人は、何かをやりきった人か何もしなかった人でしょう。その意味で、「短くもあり、長くもあり」といったところが私の本音でしょうか。池田副委員長にお任せで、各クラブの委員(が、いるはずですよ?)と全く連動連携できなかったことが最大の反省点です。ただ、初の試みである次期会長を対象とした「上位リーダーシップセミナー」は一定の意義があったのではないのでしょうか。私も2度目の会長になる前にはお世話になりたいと思いますので、講師の方々にはご負担をおかけしますが、来期も期待しております。

皆さまありがとうございました。



地区会則委員長

札幌ノースライオンズクラブ

わか ばやし しげ お
若林 繁雄

株式会社日栄建材 代表取締役社長
〒004-0872
札幌市清田区平岡2条4丁目4番50号
TEL: 011-888-3344 FAX: 011-881-8011

地区会則委員長という大役の指名を受け、一年間活動をして参りましたが、活動すべき活動や、大きな問題もなく、終了いたしました事に対し、各クラブ会長を初め関係者に対し心よりお礼申し上げます。

またこの一年、多くの皆様のご指導ご教示を頂き何とかその勤めを果たすことができましたのも各クラブ皆様のご支援とご協力のおかげと心より感謝を申し上げますとともに、今後とも各クラブの益々の発展とご活躍を祈念申し上げ退任の挨拶と致します。



地区薬物乱用防止委員会

札幌リパティライオンズクラブ

すず き ただ し
鈴木 忠士

株式会社鈴木イベントプロデュース 代表取締役
〒001-0022
札幌市北区北22条西5丁目第11松井ビル2F
TEL: 011-756-0048 FAX: 011-758-6554

今思い起こすと1年間はアッと言う間でした。もともと本委員会は「青少年委員会」から切り離されて単独の委員会として活動してから3年程と記憶しております。本委員会はA地区エリアの各クラブの薬物乱用防止教室ACTを推進させるお手伝いすることが目的ですから、その意味では本年は少しは前進したと自負しております。講師認定講座・講師座談会・小冊子編集を通して多くのライオンの皆様と出会う機会を得られました。この事こそが私の一番の宝物です。この職責を与えていただきました山口ガバナーと、ご協力・ご尽力頂きましたA地区ライオン各位・副委員長西村ライオンに感謝いたします。



地区委員会役員退任挨拶



地区青少年委員長



札幌すすきのライオンズクラブ

おがわ ひろなり
小川 裕也

朝日税理士法人 代表社員

〒060-0042

札幌市中央区大通西12丁目4 あいおい損保札幌大通ビル2F

TEL: 011-221-0660 FAX: 011-221-0670

今年度、地区青少年委員長として、いくつかのクラブの青少年関連アクトへの参加、ライオンズクエスト事業など他の地区委員会所管の青少年関連事業への参加をいたしました。前者においては、地域に密着した社会奉仕活動に対する真摯な取組姿勢に感心させられ、後者においても青少年の健全な育成のためのライオンズクラブの活動について大変勉強になりました。また、各クラブからいただいた青少年関連アクトのアンケートは薬物乱用防止啓蒙の小冊子にて紹介させていただきましたが、私自身にも大変参考になる内容でした。この経験を今後の私の活動に生かしていく所存です。1年間、ありがとうございました。

地区IT委員長



札幌時計台ライオンズクラブ

むら た えつ ろう
村 太悦郎

株式会社北海メディカル 取締役会長

〒065-0076

札幌市東区北26条東6丁目2番1号

TEL: 011-712-0381 FAX: 011-712-0084

今期、地区ガバナーL山口富雄のもとに、地区IT委員長、地区PR委員を務めさせて頂きました。ガバナー方針であるペーパーレス化・ホームページの開設に奮闘し、あっとゆう間の1年を過ぎようとしています。

ペーパーレス化については、キャビネット、各クラブとの双方通信手段である、E-mailは95%強に達成することができました。ホームページの開設については、期首において40%を、現在90%を超えました。

また、新入会員オリエンテーション、DVDの作成を監修させて頂き、完成度高いDVDを作成することができました。

331-A地区 皆様の甚大なる、ご協力をいただき、数多くの経験と充実した1年過ごすことができましたことを、心より感謝しております。

今後とも、ライオンズクラブを担う若手の会員増強のために、更なる、IT化の推進をお願いいたしまして、退任のご挨拶と致します。

地区環境保全委員長



札幌大通ライオンズクラブ

やす なか まさ み
安 中 正 美

ナショナルゴルフ 代表

〒004-0834

札幌市清田区真栄4条1丁目2-1

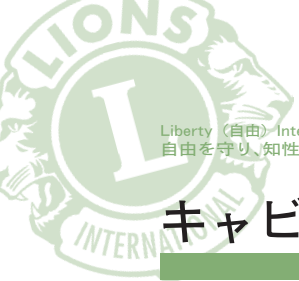
TEL: 011-676-8511 FAX: 011-676-8512

昨年7月環境保全委員長に就任して、早1年になろうとしております。

第一回キャビネット会議に出席しましたが、議事進行がスムーズでただ拝聴してただけでした、私ごとで第二回、第三回欠席いたしました。私が思うに環境保全委員会とは？

他の委員会は事業を引き継ぎで行いますが当委員会ではなにもないのです。なにかから始めてよいのか見当が付きませんでした、結果今期はなにも出来ませんでした。次期からでもよいですが、最初から2~3のヒントを与える、または意見を聞く様な準備をされてはいいのでしょうか、また委員会予算もわずかしかなりません。次期委員長に期待しております。





Liberty (自由) Intelligence (知性) Our (我々の) Nation's (国の) Safety (安全)
自由を守り、知性を重んじ、われわれの国の安全をはかる

キャビネット会議



2010-2011年度ライオンズクラブ国際331-A地区 第4回キャビネット会議

地区IT委員会副委員長 L 林下 英二

4月18日(月)16時より札幌パークホテルにおいて、キャビネット構成委員、オブザーバーを含め、総勢87名のライオン諸氏にご出席いただき、盛大に行われました。

進行役はキャビネット事務局長のL前川忠男。地区ガバナーL山口富雄の開会宣言に始まり、進行役のL前川忠男より出席者の紹介、地区ガバナーのご挨拶と続き、元国際理事松原文彌のご挨拶がありました。

報告事項に関しては、キャビネット幹事の富本庄一より全複合地区連絡会議、全日本レベル委員会、日本ライオンズ連絡事務所、331複合地区、331A地区についての関連報告があり、最後に東日本大震災緊急援助物資につ

ての報告がありました。

審議事項については、キャビネット会計のL洞内俊より、2010-2011年度地区会計決算報告の次年度審議譲渡の件、他10件が審議され、可決されました。

また、2010-2011年度地区ガバナー立候補者として、第1副地区ガバナーL庵原宏章(札幌東ライオンズクラブ所属)、2010-2011年度地区第1副地区ガバナー立候補者として、第2福地区ガバナーL渡辺修(美唄ライオンズクラブ所属)、2010-2011年度地区第2副地区ガバナー立候補者として、L小野寺眞吾(札幌北の杜ライオンズクラブ所属)の3名がご挨拶をされました。





第57回地区年次大会大会記念アクティビティ

記念アクティビティ部会長

┌ 荒木龍太郎

2011年5月14日第57回地区年次大会記念アクティビティが赤平市植松電機にて開催されました。

当日は赤平市市長高尾弘明氏のご列席を賜り、331-A地区ガバナーL山口富雄様はじめ多くのキャビネット役員が参加し、午前9時より開催されました。

児童、生徒、保護者、ライオンズ会員等総勢300余名の参加者でメイン会場は熱気で溢れていました。

午前中は植松努氏の講話、子供達のモデルロケット製作。植松努氏の講話は、子供達にも保護者にも夢を持つ事、夢を諦めない大切さが充分に伝わったのではないだろうか。昼食を挟んで午後からは施設見学と体験学習など子供達は初めての事ばかりで見えるもの聞くもの興味津々でした。

中でもカミイ燃焼実験では、あまりの迫力に喚声が上がりが大いに盛り上りました。

そして最後にメインイベントのモデルロケットの打上げです。子供達が各々ペイントしたロケットが空に上がり、パラシュートを開いて降下してくると自分のロケットの落下地点へと走り出しました。子供達全員がロケットを打上げ、記念撮影し、無事記念アクティビ





Liberty (自由) Intelligence (知性) Our (我々の) Nation's (国の) Safety (安全)
自由を守り、知性を重んじ、われわれの国の安全をはかる

第57回地区年次大会

記念アクティビティにご参加頂き有難うございました。
差し支えなければ参加したご感想をお書きください。
これからのライオンズ活動の参考にさせて頂きたいと存じます。

お子様のご感想：
とてもおもしろかったです。
とくにおもしろいのは植松さんの
話です。とても勉強になりました。
また参加したいです。ロケットを飛ばすのが
おもしろかったです。

保護者様のご感想 （抜粋）
無料で参加。楽しかった。とても楽しい。
一日となりました。ありがとうございました。
大人も小学生も楽しかった。大成功。
植松さんの話もとてもおもしろい。
"失敗は成功への人生はいつも勉強の場"
な心で子供を成長を見守り。私自身
も成長していきたいと改めて
感じました。お礼がきちんとしてあります。

ティが終了しました。
今回、参加された皆様には、長時間に亘り、お付き合いを頂き、また全工程を終了出来き、部長として、ほっと胸を撫で下ろしております。
何分にも初の試みであり、成功裏に終え、皆様に感動頂けたかどうか甚だ不安ではありますが、子供達のうれしそうな顔を見てみると、ある程度の成果を得られたものと確信しております。
最後になりますが、関係各位、各ライオンズの会員の皆様のご協力に大変感謝申し上げます。有難うございました。





第57回地区年次大会

札幌グリーンライオンズクラブ
L 高野 倫行

すばらしい年次大会であったと自負しております。それは、山口ガバナーの意図するところを見事にホストクラブ部会長の指揮のもと見事にやり遂げたからです。

5月13日記念ゴルフ大会に始まり。14日には赤平市長高尾弘明様をお迎えし(株)植松電機社屋にての記念アクティビティ。植松専務より保護者への記念講演、安中社員等が先生となりロケット製作、50メートルに達する作品の発射、子供達の想像外の世界が出現、彼らの喜びは大変なものでした。

お礼のハガキも沢山いただきました。実験の様子は式典でもスクリーンにてご披露させていただきます。

この企画は青少年委員長小川裕也ライオンとの話しの中で生まれました。ありがとうございます。また、複合YE委員長深川明俊ライオンのご配慮で道新に破格の料金で広告をすることができました。友人として感謝いたします。

15日記念フォーラムでは「YE事業の魅力を語る」として336複合地区YE委員長松本正福ライオンの講演をいただきました。この詳細はDVDにて配布いたします。

元ガバナー秋庭一富ライオンには松本講師の接待をしていただきありがとうございます。肝心な代議員総会、前夜を含めておおくのご苦勞をなされた式典も滞りなく進行いたしました。





Liberty (自由) Intelligence (知性) Our (我々の) Nation's (国の) Safety (安全)
 自由を守り、知性を重んじ、われわれの国の安全をはかる

第57回地区年次大会

懇親会は桜満開のデスプレイでの宴、若い
 ストリートアーティストに広い場所を与えた
 度量に賞賛を贈りたい。

義援金募集では100万円を贈呈することがで
 き、大人の義務を果たせました。

終わりにあたり、この成功に導いた部会長、
 副部会長のお名前を列挙し謝意を表したい。

- 登録・受付部
 会長 井上 定幸 副会長 鹿野 好治
- 総務・救護部
 会長 佐川 弘昭 副会長 樋口 信弘
- 代議員部
 会長 栗林 正明 副会長 牧 努
- 式典・接待部
 会長 四谷 明治 副会長 太田 治彦
- 会場・交通部
 会長 藤枝 靖規 副会長 吉川 繁晴
- 記念フォーラム部
 会長 戸澤 眞 副会長 田中 義一
- 懇親会部
 会長 野澤 強
- ゴルフ部
 副会長 大和 久男 副会長 田嶋 端
- 売店部
 会長 武部 孝彦 副会長 竹田 章仁
- 記念アクティビティ部
 会長 原田 和夫 副会長 山田 正幸
 会長 荒木龍太郎 副会長 上村 英之

ライオンズクラブの未来は諸氏の献身を見
 るに明るく輝いております。

We Serve



「上位リーダーシップセミナー」のご報告

地区指導力育成委員長 丸尾 正美

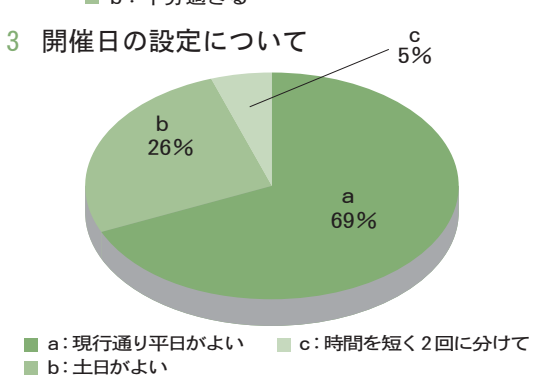
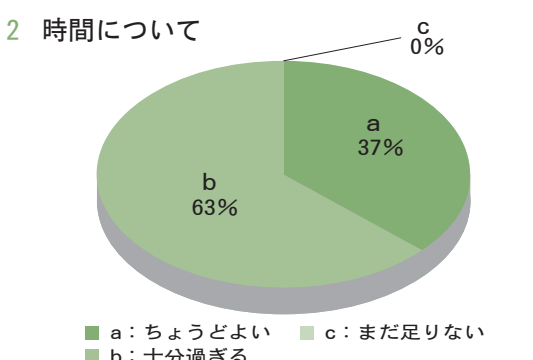
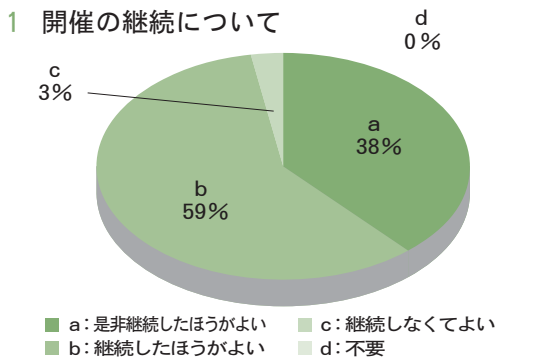
2011年3月8日（火）、朝の10時から夕方5時までという殺人的スケジュールのセミナーが開かれました。対象者は次期会長（どうしても出席できない場合は、その右腕となる次期幹事）。当日は50名のライオンにご参加いただきました。

主な内容はライオン誌から選りすぐったライオンズ検定試験とその解説から始まり、講義として「歴史編」「運営編」。お昼を挟んで、「オリエンテーションガイド」のDVD上映。眠気が覚めたところでまたまた講義「組織編」

「用語編」。講義机から丸テーブルに移動してのグループディスカッションと発表。最後に講義「リーダーとは」で締めくくりという豪華な一席。懇親会での乾杯がいつになく美味かった。

初の試みでしたが、アンケート結果を見ると、時間についてこそ丸1日は「十分すぎる（短くてもよい）」が「ちょうどよい」を上回ったものの、各内容とも9割以上の方が「良く理解できた」「理解できた」、「今後も継続すべき」とうれしい回答を頂戴しました。

出席者のアンケートの結果





Liberty (自由) Intelligence (知性) Our (我々の) Nation's (国の) Safety (安全)
自由を守り、知性を重んじ、われわれの国の安全をはかる

委員会報告

ニューメンバーオリエンテーション

地区会員・エクステンション委員長 **美馬 剛**

東日本大震災の混乱も治まらない3月28日、札幌後楽園ホテルに93名のご参加を頂き、ニューメンバーオリエンテーションを開催することが出来ました。

開催にあたり早い時期よりお手伝い頂いたキャビネット役員の皆様、そしてし古谷野ガバナール協議会議長にはライオンズの歴史・組織等の膨大な資料作りから当日の講話までをお願いし、プログラムの主たる部分で大変なご尽力を頂きましたことに感謝申し上げます。テーブルディスカッションにおきましても、各ZCの皆様にテーブルリーダーとしてお手

伝い頂きました。そして将来を嘱望されているニューメンバーの皆様からの質問に答えながらも、ライオンズ活動に対する期待感とモチベーションを十分に高めていただいたと感じております。一つのテーブルに他クラブのメンバー同士が、共通のテーマについて協議することの有意義さを感じたオリエンテーションでした。

最後に、開催当日までビデオ編集を行っていただいたL村太地区IT委員長、そして原作者でありますL牧地区会則委員会副委員長、ありがとうございました。





Liberty (自由) Intelligence (知性) Our (我々の) Nation's (国の) Safety (安全)
自由を守り、知性を重んじ、われわれの国の安全をはかる

委員会報告



「第3回クラブホームページ作成セミナー」開催!

地区IT委員会副委員長 L 林下 英二

4月9日(土) 10時~16時、北海道NPO
サポート研究室にて「第3回クラブホームページ
作成セミナー」が開催されました。

当日、19クラブ、28名の方にお集まりい
ただき、会場はほぼ満室状態。講師には札幌フ
ロンティアLCのL上口義雄をお呼びして、
各自1台提供されたパソコンを使つての講習
会。L上口義雄講師の親切で分かり易い教え
方は、過去2回のセミナーで実証済み。

開催に当たりこのセミナーの仕掛け人である地
区IT委員長・L村太悦郎から、ご挨拶を兼ね
て休日の中へ参加いただいた皆様にお礼とセミナー・
スケジュールの概略について、お話がありました。

セミナーの前半は、Eークラブハウス・ホー
ムページの操作説明書を使い、基本画像の説
明、アカウントの管理、ページの管理等の基
本的なことを学びました。午後からは各自が
ホームページ作成を実践し、分からない方に
は、L上口義雄講師と地区IT委員長・L村
太悦郎が付きつ切りで指導されておりまし
た。

今回は第3回と云うこともあり、参加者の
皆さんのITに関する知識・技術も大幅にアッ
プし、今後各クラブに戻られてからそれぞれ
のクラブホームページ作成に当たり、今まで
学んだことを存分に発揮されると確信させて
いただいた大変有意義なセミナーでした。



8 クラブ交流会



331-A地区第2R第2Z 8クラブ交流会を実施しました!!

8クラブ合同活動実行委員長 L 高橋 和央

平成23年4月11日(月)、ライオンズクラブ国際協会331-A地区第2R第2Zの8クラブ(札幌アカシヤライオンズクラブ、札幌クラークライオンズクラブ、札幌時計台ライオンズクラブ、札幌パイオニアライオンズクラブ、札幌羊ヶ丘ライオンズクラブ、札幌グリーンライオンズクラブ、札幌ノースライオンズクラブ、札幌わかばライオンズクラブ)が集まり、各クラブ会員の親睦を図る目的で、交流会を行いました。この8クラブ交流会は、第2R第2ZのL坂地俊信ゾーン・チェアパーソンの発案、呼びかけにより、今期、初めて企画されたものです。

平成23年2月7日に第2R第2Zの8クラブから各1名ずつ実行委員が集まり、8クラブが合同で活動することの是非及び内容について意見交換がなされました。これまでは、同じ第2R第2Zに属するクラブでありながら8



L山口富雄地区ガバナー「始球式」



「表彰式」

つのクラブが合同で活動する機会がありませんでしたが、今後、場合によっては、複数のクラブと一緒にアクティビティを行うことも視野に入れつつ、まずは、8クラブで交流を深める機会を設けるということになりました。日程的には、前記交流会の目的から考えて、できるだけ次期三役候補者に参加していただくこと、また、各クラブの例会の曜日なども考慮し、4月11日(月)に開催することになりました。

当日は、L山口富雄地区ガバナー、L富本荘一キャビネット幹事、L洞内俊キャビネット会計をはじめ来賓の方々にもお越し頂き、ボウリング参加者42名で、午後6時30分、8クラブ合同活動副実行委員長杉澤ライオンの司会によりボウリング大会がスタートしました。

ボウリング大会は、クラブ毎にチームを作るのではなく、クラブの枠を超えてチーム編成をすることで、他のクラブの方々と交流が図れるようにしました。初対面の方々ばかりのチームも多く、最初は緊張した雰囲気もありましたが、L山口富雄地区ガバナーの始球式に続いてゲームが始まると、

各レーンから大きな歓声が上がりが盛り上がっていました。

ボウリングの後の懇親会は、会場を近くのお店に移動してしゃぶしゃぶの食べ放題52名出席で実施しました。本来の交流会の趣旨としては、懇親会もクラブ毎の枠を取り払い、チーム毎で席を配置できれば良かったのですが、懇親会から参加される方もいたり、1チーム3名編成でボウリングをしたのに対し、しゃぶしゃぶの鍋は4〜5人に1つ位の割合で設置されるという事情もあって、チーム毎に席を定めることが困難でした。結局、懇親会は、いつものように御来賓席を設けた上でクラブ毎にまとまっていただいて実施することとなりましたが、次回以降、このような企画があるとしたら、クラブの枠を超えて席を配置するやり方があってもよいのではないかと思います。

懇親会は、L山口地区ガバナーよりご挨拶を頂いた後、L富本キャビネット幹事のウイ・サーブにより会食が始まりました。会食の途中、ボウリング大会の表彰式が行われ、各賞受賞者には、御来賓の皆様から協賛いただいた豪華景品を含む各賞品が授与されました。今回のボウリング大会は、あくまでも交流を図ることに目的があり、ボウリングの技術を競うものではありません。通常であれば、順位に応じて良い景品を用意するのかもしれませんが、今回は、順位がよければ良い景品があたるということではなく、どの景品があたるかは、本当に運次第という形で運営させていただきました。

表彰式の一番最後に、L山口地区ガバナーより特別賞の発表があり

ました。ガバナーより提供していただいた豪華景品を獲得したのは、なんと今回の8クラブ交流会の準備で、ご案内の作成、送付、参加申込のとりまとめ、式次第の作成、印刷、当日の受付等を行い、当日は自らはボウリングに参加せずに懇親会に走り回った札幌パイオニアライオンズクラブの事務局の浅野さんでした。L山口ガバナーには、隅々までお心配りをいただき実行委員会としてとても感謝いたしております。

表彰式の後は、L洞内キャビネット会計の御発声によるライオンズ・ローアで懇親会を終えました。

L坂地ゾーン・チェアパーソンの発案によって実現した今回の8クラブ交流会ですが、次期役員の交流という観点からもとても有意義だったのではないかと思います。私自身、来期は札幌パイオニアライオンズクラブの会長をやらせていただく予定ですが、4月の時点で他のクラブの次期会長の方々と交流を深めることができたことはとても良かったと感じております。内容は毎年変わってもかまわないと思いますが、来年以降も、この趣旨の交流会は継続していただけたら良いのではないかと思います。

最後になりましたが、各会場との交渉から当日の司会進行まで、ご多忙にもかかわらず面倒な準備をこころよくお引き受けいただいたL杉澤副実行委員長、今回の企画の実現に向けて各クラブのご意向をとりまとめていただいた実行委員の皆様、そして、事務作業を一手に引き受けて下さった札幌パイオニアライオンズクラブの事務局浅野さんに心から御礼を申し上げます。



合同事務所運営委員会活動報告

合同事務所運営委員会委員長 L 柳田 浩道

合同事務局は札幌ススキノ繁華街のビルの一室に札幌LC、札幌中央LC、札幌エルムLC、札幌アカシヤLC、札幌ポプラLC、札幌もいわLC、札幌クラークLC、札幌まるやまLC、札幌オーロラLC、札幌時計台LC、札幌フロンティアLC、札幌グリーンLC、札幌ライラックの13クラブ、事務局員12名が入局しております。

合同事務局運営委員会設立の経緯は、入居している部屋の諸経費は13クラブで按分していますが、会員減少で各クラブとも経費負担が年々増大し、クラブ運営の足枷になっているのが現状です。

少しでも改革して会員一人当たりの負担を少なくし、ライオンズクラブ本来の会員増強に向けた動きをしようと、入局13クラブ会長が集り、思い切った大改革をしなければクラブの将来はないとの共通認識で一致し、改革を進める「合同事務局運営委員会」を立ち上げる事になり13クラブ推薦のLが集り、委員会が誕生致しました。

先ず13クラブが合同事務局運営委員会を円滑に進めていくためには1クラブも退局をしないとの前提条件付きで改革を進めることになり、事務局員の実態調査から開始。事務局員との雇用関係はクラブと事務局員との契約のため実態掌握にかなりの時間を要しましたが、総括して

みますと正規雇用であればパート雇用も、強いては賃金格差、手当等のある処、ない処とバラバラで一本化の難しさを浮き彫りになって来ました。

運営委員会では、「不動産・賃貸借プロジェクト」、「事務局・労務プロジェクト」、「クラブ運営プロジェクト」の3つのプロジェクトを立ち上げ、「不動産・賃貸借プロジェクト」では現在の賃料の相当性検討（他不動産との比較）、現在の賃借部分が必要不可欠かの検討、賃貸人との賃料値下げ交渉、移転先の検討を、「事務局・労務プロジェクト」では現在の合同事務局体制の問題点検討、事務局体制改善策の検討（他地区との比較）、事務局体制改善に伴う労務・法律問題の検討、事務局員との協議・交渉を、またクラブ運営プロジェクトでは各クラブの運営方法（例会日・理事会日・場所・会員に対する連絡方法等）の調査・比較、事務局体制改善（事務局員の複数クラブ受持ち）に伴って、各クラブの運営方法（例会・理事會・CN等）や規則等（就業規則・給与規定・慶弔規定その他）を標準化する必要性の検討、どの様に標準化するのが相当かの検討等と各プロジェクトは多岐に渡り討議を重ね、月1回の委員

会は6月末で実に15回を数えます。ライオンズクラブ東京合同事務局をモ

デルに、一人の事務局員が複数クラブを担当する方向性を確認。（東京合同事務局の場合は、72クラブ、事務局員18名、事務局員1人4クラブを担当）

但し各クラブとも改革には大賛成だが、クラブと事務局員の雇用問題、合同事務局移行に向けての自クラブ内での改革等々についてはもう少し時間的余裕を見て欲しい等の意見もあり、クラブ間での温度差が生じてきています。

いずれにしても理想としている「ライオンズクラブ札幌合同事務局（仮称）」改革に向けて諸問題解決のためには、事務局長を置き、事務局員6名体制に向けての合同事務局造りに向けて助走を開始し軟着陸していく事になります。

取りあえず、直ぐ改革出来る「事務所縮小問題」からの経費削減を押し推し進める事とし、6月11日に縮小に向けた事務局内大移動を開始し、合理化に向けた第一歩を踏み出しました。諸問題が解決すると各クラブの大幅な経費削減となり、強いては会員一人当たりの会費の削減にも繋がり、ライオンズクラブ本来の会員増強に力を注ぐ事が出来る様にもなります。

縮小した事務所にはまだ3〜4クラブが入局出来るスペースがありますので、検討されているクラブは、ぜひ新体制の合同事務局をご見学下さい。





Liberty (自由) Intelligence (知性) Our (我々の) Nation's (国の) Safety (安全)
自由を守り、知性を重んじ、われわれの国の安全をはかる

合同事務局運営委員会



L 中村 宏
(札幌LC)

合同事務局 運営委員紹介



L 鈴木 実
(札幌エルムLC)



L 桧山 良秀
(札幌中央LC)



L 広田 聡
(札幌ポプラLC)



L 荒谷 治
(札幌アカシアLC)



L 岡田 政義
(札幌もいわLC)



L 柳田 浩道
(札幌ライラックLC)



L 中山 輝善
(札幌まるやまLC)



L 川合 則夫
(札幌クラークLC)



L 大笹 進
(札幌時計台LC)



L 松橋 謙一
(札幌オーロラLC)

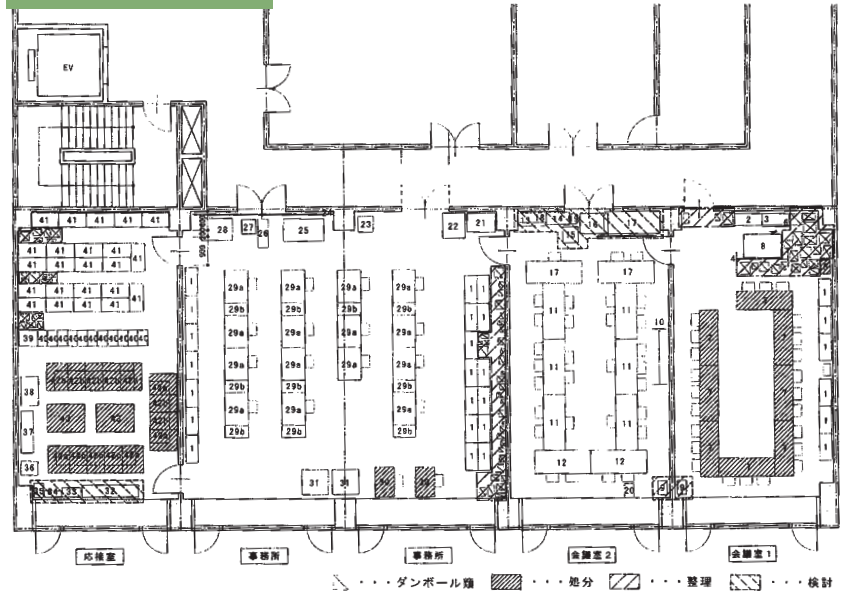


岡田 忠恭
(札幌グリーンLC)

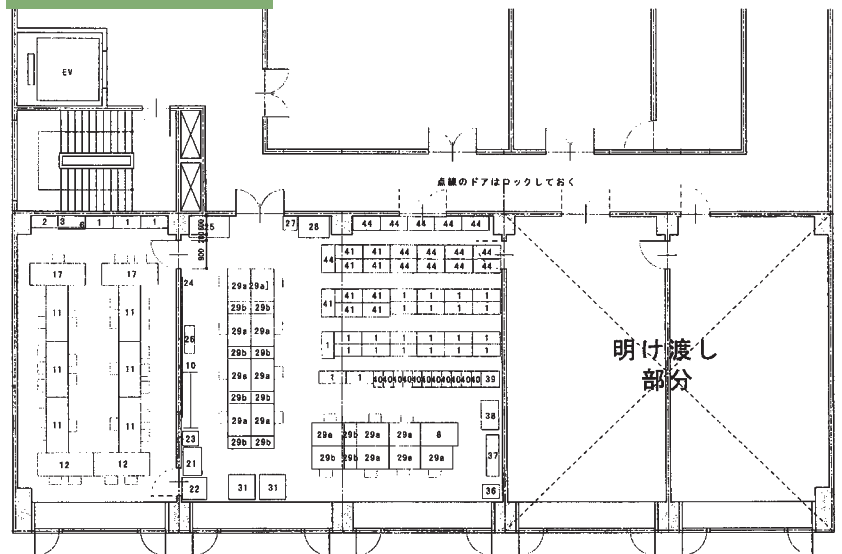


L 古口 聡
(札幌フロンティアLC)

変更前レイアウト図



変更後レイアウト図



331-A地区 緊急援助資金委員会支援報告

緊急援助資金委員会委員長
L 山口 富雄

331-A地区単独 南三陸町へ緊急援助金拠出

東日本大震災の被害状況はテレビ等での連日の放送で刻々と伝えられておりますがメディアでは報道されない大変困っている現地状況が多々存在しています。

今回の災害の特徴は被災地が広範囲になっていることと原発の大きな問題が混在している点です。

特に南三陸町の被災状況は大きく、ライオンズクラブ332-C地区ガバナール田畑英伍より数回にわたる支援のお願いの電話が331-A地区カバナール山口富



雄にありました。

現在まで風邪くすり、目薬等、また中古でも良いので自転車200台等々依頼がありました。こちらで購入検討していますと、手配ができましたとの連絡で取りやめたことも何度もありました。現地の困っている内容は刻々と変化しているようです。

先月中旬よりカバナール山口富雄に相談依頼があり、今までは他の地区から手配ができましたが、今回の件はなかなか難しく是非検討してほしいとの文面がFAXされてきました。

要請依頼は現地での各家庭で洗濯が非常に困っているという内容です。建物は現地で何とかするのでも設置する業務用の洗濯機・乾燥機の購入資金700万円の援助資金協力依頼のごことです。

もうすでに気温は上がっている、これからはまだまだ暑くなるのに各家庭で洗濯できない現実があるということです。

6月10日に緊急援助資金委員会を開催し、委員長であるL山口富雄より趣意説明があり、キャピネット幹事・会計より補足説明し、カバナールエレクトロニクス宏章、第一副地区ガバナールエレクトロニクス 修より色々と質問・疑問点等発言がなされました。

南三陸町では、ほんの一部しか水が出なく、個人個人の洗濯機では利用できない点、これからもインフラ整備に相当の年数を要すること、他の要請先ではお断りされていること、受けることができたにしても日時を要すること等を鑑み、大変つらい被災地の方々はこの援助を要する事が被災地の方々にも喜んでもらえることだと確信し、全員一致で了承しました。

援助資金先

ライオンズクラブ332-C地区
地区カバナール田畑 英伍
金額 700万円

331-A地区の会員にご報告させていただきます。

(文責 キャピネット幹事

L富本在二)

支援物資 粉ミルク手配協力について

3月18日の午後に「日本ライオンズ支援対策本部」を通じて331複合地区へ緊急の「粉ミルク手配要請」がありました。

先の東日本大震災発生の後、332-D地区(福島)では、乳児へ飲ませる粉ミルクの入手が大変困難な状況となっているということでした。

翌19日午後3時までにキャピネット事務局まで持参という、緊急の依頼通達が各クラブに回

り、週末にもかかわらず山口ガバナールはじめ役員、事務局員総出で受付・整理・トラックへの積み込みと大車輪の働きでした。

またその超大型トラックと共に登場した、331複合議長 古谷野ご夫妻の動きには目を見張るものがあり、とりわけご内室の、大の男3人分に匹敵する働き振りは圧巻でした。古谷野議長が実業界で成功を収めた理由の一端を垣間見たと思います。



この急な呼びかけに集まった、約2900缶の粉ミルクを満載にした大型トラックは、道警指定緊急車両としてひた走り、20日13時に待ちこがれている福島の集積センターに無事届けられました。

ご協力いただいたメンバーの皆さんには心より感謝申し上げます。



6クラブ合同アクト 東日本大震災募金活動

あの3月11日から3ヶ月が過ぎました。

当時は地震と津波のすさまじさに、ただテレビの前に釘付になっておりました。

その後、いつ終息するやもしれない原発被害が重なり被災地の方々はどんなにお疲れになっていることか本当にお気の毒です。

震災翌日、平川会長をはじめメンバー間との電話で皆一様に「近くに住んでいたら絶対炊出しをするよね」という話から、せめて被災地で炊出しをするフイオンスへ費用の一部でも送ろうというところで街頭募金活動をすることにしました。

加藤ZCにも相談し、なるべく早い内にと3月19・20・21日



の3日間の日程を決めました。

初めての経験で、どこへ届くが必要か、地下通路で募金は出来ないか、募金箱の用意は、アピールするための旗又はゼッケンは等々、数日での準備は結構大変でしたが、メンバー全員で家族も巻き込んで何とかできました。

ただ、他クラブへのお誘いは手書きの稚拙な案内でしたので「臨場感があって良かった」と慰めてくださる方もおりましたが、もっときちんとした案内をすべきだったと反省しております。

そんな案内でしたが、札幌ポプラLCさん、札幌もいわLCさん、札幌しらかばLCさん、札幌白石LCさん、札幌赤レンガ



LCさん、と6クラブの合同アクトになりました。

募金活動は、3月19・20日は3時間、最終日の21日はあまりの寒さに時間短縮して2時間、2ヶ所に分かれて実施しました。多くのライオンに支えられて、717,296円募ることができ、6クラブからキャビネットを通じてLCIFへ送金いたしました。一緒に募金活動をして下さった各クラブの皆様の他にもいろいろなる方にとても御世話になりました。

数日後、私共のクラブには素晴らしい御褒美がありました。ご縁のある様々な方が「女性だけの小さいクラブなのに頑張っている」と義援金を託してくださいました。また街頭募金に参加できなかったメンバーが職場で募ってくれましたし、メンバーのドネーションを足しますと

787,959円集まりました。『できれば被災地の方々に直接届けて欲しい』という方が多く、元ガバナーのL瀧澤にお願いし322複合地区物資救援センターを紹介して頂きそちらへお届けしました。

ライオン誌5月号にMD322災害対策本部長L其田桂の写真が載っておりましたが、御本人から心のこもった御礼状が届きました。被災地廻りのお忙しい中、夜間あのFAXを下されたのかと思うとメンバー一同感激いたしました。

この先、被災地の方々を思いどんな支援ができるか考え実行していきたいと思っております。この度、私共を支えて下さった皆様ありがとうございました。ウィ・サーブ!

(札幌コスミックシニアLC)

幹事 L石川節子



札幌赤レンガライオンズクラブ 第9回チャリティーゴルフ

去る5月7日札幌市芙蓉カントリーゴルフクラブにおきまして、第9回となりますチャリティーゴルフを開催いたしました。これまででは当クラブのテーマ「桜の木1000本植樹」を掲げ行ってまいりましたが、この度の東北地方の被災されました方々に対し、義援金を募り、少しでも復興のお役に立ちたい思いを、今大会のテーマにさせていただきますました。

チャリティーホールにて多くの参加者から募金をいただきました。目標額1,000,000円 17名(45組)の参加となりました。募金は北海道様似町と友好のある岩手県野田村へ贈らせていただきました。当クラブよりSTV札幌テレビを通じてテレビ岩手へ送金を託しました。5月24日チャリティー募金100万円を手渡した。



チャリティーホールにて多くの参加者から募金をいただきました。目標額 1,000,000円 177名(45組)の参加



左から STV札幌放送局次長 多畑 修二 様 実行委員長 L 佐藤 昌洋 札幌赤レンガライオンズクラブ会長 L 長尾 晃



テレビ岩手八戸支社 伊藤 正夫 支社長(写真左) 野田村村長 小田 祐士 様(写真右) (岩手県野田村村役場にて)

義援金贈呈は5月25日地元紙、岩手日報に掲載されました。また、後日、小田村長様から丁重なる礼状をいただきました。ご参加いただきました皆様、関係

各位様、景品提供いただきました企業の皆様ありがとうございました。当クラブメンバーの皆様、寒い中大変お疲れ様でした。被災地の皆様方には二日も早

い復興と元の生活に戻れますようお願いと共に、お体に十分留意され元気で過ごしていただきますようお願いいたします。(チャリティーゴルフ実行委員会)

札幌中央ライオンズクラブ 東日本大震災 避難動物救済物資輸送中

皆様の深い思いと愛情をお届けできました。物資をお届けした「釜石動物病院」の皆様も大変喜んでおりました。しかし、町の惨状は想像を絶す

るものがあり、動物達の姿をありませんでした。悲しいことです！救済された動物達が元気に育つことを祈るばかりです。私達もこの惨状を忘れること

救 援 物 資

ゲージサークル	28台
ティッシュペーパー	450個
トイレットペーパー	50パック
フード 各種70P	タオル 多数
シート類、現金、御飯セット	他

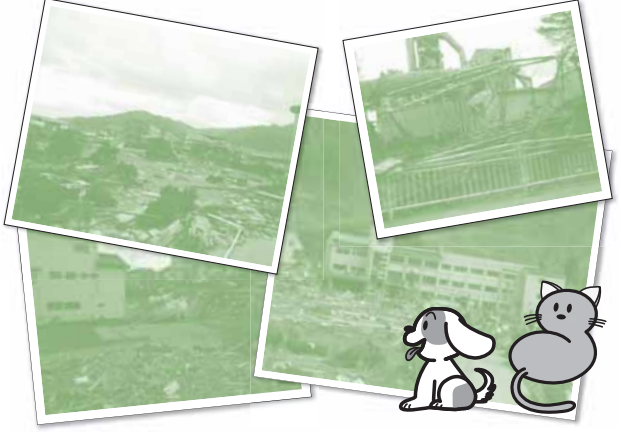
なく、息の長い救済をしていきたいと考えております。其の節はよろしくお願ひいたします。(I藤田 開・まゆみ)

御協力下さいました皆様 ありがとうございます

- 札幌セーコーさん・山田ガラスさん・難波さん・小林錦松堂さん・田巻さん・装飾センターさん・日本コリークラブ札幌支部さん・札幌協和さん・植田さん・一夫さん・M基金さん・目澤さん・阿部さん・川端さん・森山さん・笹川さん・松浦さん・ポッケさん・山本さん・ミチさん・ミルキーさん・中田さん・谷藤さん・滝澤さん・佐藤さん・白神さん・只野さん・富樫さん・吉永さん・石川さん・水口さん・柏木さん・新屋さん・田中さん・島田社中のみなさん・宮下さん



六書堂社員のみなさん、ありがとうございました



美唄ライオンズクラブ
東日本大震災「被災地
炊き出し支援」の感想

地区年次大会の翌日5月16日、31複合地区古谷野議長と第4Rの有志12名。マイクロバスとワゴン車に「被災地物資輸送中がんばろう日本」のステッカーを張り、メンバーのドネーション、また参加できない皆様方から期待を込めた多くの品々を感謝と共に詰め込んで17時に美唄を出発しました。夕食をはさみ函館フェリー乗り場まで22時に到着。青森に着くまで4時間。気が高ぶりなかなか寝れない…。早朝、晴天になり、東北自動車道をひた走る。途中パノラマいっぱいには岩手山が正面に迎えてくれる。内陸からいくつもの山を越え、岩手県下閉伊郡山田町に



10時に到着。私は4月に福島県の同業の所に見舞いに行った際に新地と南相馬を視察した時と同様に想像を超えた被災地の光景に言葉をなくした一同。海岸線から遠く離れた場所に点在する船。一面にガレキの野原と化した街は、ここに家々が立ち並んでいたことを想像するのが難しいほど、かつて街が存在したことを知る地元の人々にとって変わり果てた姿を見ることはとても残念で悔しいだろう。2日目は、宮城県石巻市小湊町に向かいました。風光明媚なところで観光としてもすばらしいところですが、しかしながら、今だから、ライフラインが途絶え壊



滅状態でした。昼食の準備に間に合うように何とか到着。昨日同様に、初めてのジンギスカンに笑顔で美味しいと喜んで頂きました。

帰りの車中で、復興までの道のりがいかに長いかを考えさせられ…。それでも現地は、生活しているし、頑張っている事を伝えなくてはいけない。これからも私達の出来ることを応援しようと思ひ合いました。この度は、参加させて頂き誠にありがとうございました。

(美唄ライオンズクラブ
L藤本和己)



そらちライオンズクラブ
東北地方太平洋沖地震避難者人道支援

私共が暮らす北海道も強い揺れを感じた3月11日14時46分頃の事です。車中で聞くとラジオから「岩手・宮城・福島で大きな地震です」私が今回地震を知った第一報でした。

早急に会社に戻りテレビを見ましたら東北地方に巨大津波が街並みを覆っている光景でした。始めは画面を疑いました。こんな事が起きる訳が無い、CGなのか？残念ながら今起きている事は現実でした。

私の二男は福島県浪江町に住んでおり、勤務先は福島第一原子力発電所の協力会社です。地震が起きた直後から何度も連絡しましたが、会社も携帯電話も繋がらず心配な時間が続きましたが、午後10時頃に避難所の衛星電話から、みんな無事ですとの一報がありました。

次に心配が起きたのは、福島第一原子力発電所の事故です。息子の家は10km圏内に入っており、地震や津波が落ち着いた後も家には戻れない為、避難所生活が続きましたが4日後に福島空港から北海道へ避難致しまし

た。避難所生活では多くの地元の皆様にお世話になった事は帰郷後に聞きました。

そらちライオンズクラブメンバー(L野田)が経営しているそば屋さんで、昼食を食べているとテレビで避難所の生活状態を放映しており、温かい物が食べたいとの内容でした。

私は息子がお世話になった福島県の皆様方に恩返しをしたいと思っておりましたので、テレビを見て「これだー」と思い、野田さんに相談したところ「可能ですよー」と、こころ良い返事を戴きました。私一人の力ではあまりにも微力と感じ、玉村会長に相談したところ「クラブで実行委員会を立ち上げ、早急に活動しましょうー」とラスタート致しました。

そは・こづどん15000食を目標にして対応して戴ける避難所を探しましたが、情報不足でなかなか見つかりません。福島県浪江町が所属する原町LC事務局に連絡しましたが、10000人以上が避難している所がありませんでした。その後32D地区

キャビネット事務局様より福島市あづま運動公園（体育館）に1300人規模の避難所がある事を連絡を戴きました。

福島西LC様・福島LC様が私共の活動に全面的に協力しますと福島西LC安田会長様より連絡戴き大変心強く感じ、活動日を4月2日と決め会員7名、非会員2名、合計9名の構成にて4月1日早朝、多くの会員の見送りを後に2トトラック・ワゴンにて事務局を出発致しました。小樽〜新潟のフェリー約19時間、新潟〜福島は高速道路3・5時間かかり、福島到着時は全員疲れてグロッキーでした。写真にあるように「ありがとう！そらちライオンズ」の横断幕にて歓迎を受けた私たちは、疲れを吹き飛ばしました。

早速準備し、そば・うどんを作り始めました。私達が想像していたのは夜まで掛かっても作れば良いと思っておりましたが、避難所では私達（そば・うどん）を待って、常に数百人の行列が出来てました。私共の考え違いでした。避難所の皆様方は昼ごはんには食べるのだと云う事に気が付きませんでした。もし9名だけで作る事になっていたらと思うこと

背筋がぞーとしました。

332D地区山口一男ガバナーを始めとするキャビネット役員の皆様、第2R第1Z、ZC中野様・福島西LC安田会長様・福島LC渡辺会長様・両クラブLも含めて45名の皆様に応援を戴き、準備・後片付け含めて約6時間程で終了する事が出来ました。おそらく我々だけなら夜中まで掛かっても終了する事は出来なかつた事を重ねて申し上げます。私達は改めてライオンズの絆を認識すると共に、お手伝いを戴きました皆様の協力に深く謝意を申し上げます。

避難所を訪問させて頂いた感想ですが、目に入る画像はテレビと一緒に心が感じるものは全く違い、言葉には表せません。簡単には「頑張って頂戴」とは言えませんでした。

私共、そらちライオンズクラブでは今回を第1回とし、第2回目は7月中旬頃に実施を予定しており今後も継続的に実施する事を考えております。

最後になりましたが、今回被災された皆様に心からお見舞い申し上げます。そらちLC避難者人道支援活動報告と致します。

（実行委員長 山木村利幸）



世界中から秀作をお届けします。

日本一安い入場料で、日本一ぜいたくな座席で

蠅 SASORI-ZA 産

〒060-0809 札幌市北区北9条西3丁目 タカノビルB1 TEL011-758-0501

2R2Z 札幌グリーンライオンズクラブ



Liberty (自由) Intelligence (知性) Our (我々の) Nation's (国の) Safety (安全)
自由を守り、知性を重んじ、われわれの国の安全をはかる

委員会報告



Y E 委員会 より

Y E 生 TEE HUI-YI の
寒い冬の、暑い6日間の想い出



札幌エルムライオンズクラブ会長 L内山謙士郎

我が家をホストファミリーとしたTEE HUI-YIとの6日間のなごやかな思い出です。

1月3日、《北海道の冬と日本の伝統の遊びを楽しむ》をテーマとしたY E委員会主催ワンデイエクスカッションが実施されました。Y E生は北海道神宮参拝、宮の森ジャンプ競技場で雪印メグミルク杯の観戦、「そば道場」で蕎麦打ち体験、そして羽子板・福笑い・だるま落し・コマ回し、歓声を上げて喜び、皆さんと楽しい時間を過ごしました。私が合流したのは伝統遊びからでした。Y E生全員と言葉を交わした後、マレーシアから来たTEE HUI-YI (16歳)と羽子板で対戦、彼女はバトミントン選手なのでスマッシュはうまい！しかし、お互いにミスが続く、顔は罰のシールだらけになりました。Y E委員会企画の心暖まる一日でした。

4日、アウルエルシー会企画による協力アクティビティーで、月寒体育館にてメンバーと共にスケート体験を行いました。Y E生の皆さんが手を繋ぎ、助け合う姿を見ると世界は一つという気がします。それから、パークホテルでのライオンズクラブ新年交礼会に振り袖姿で参加しました。ホストファミリー席で、多くのライオンと祝うお正月、とても良い思い出になったと思います。

5日は円山動物園に行きました。12月25日にホッキョクグマ「ララ」に赤ちゃんが生まれましたが、残念ながら世界一の熊館は閉館してしまいました。HUI-YI YIは、熱帯鳥類館・類人猿館・動物科学館で、マレーシ



アの動物の説明を熱心にしてくれました。夕食は手巻き寿司にチャレンジ、マグロ・ヒラメ・イクラなど好き嫌いなくネタを巻いて食べていました。ハンディゴマ摺り機を大変喜び、ゴマを味噌汁に入れて食べていました。変わった物に興味津津、好奇心の旺盛な年頃です。



6日は朝から雪でした。JR北海道のL中島尚俊のご配慮で、L木村明宏にご参加頂き、札幌駅構内を見学しました。児玉駅長からは駅長室でしばし談義を頂き、視界360度眺望のJRタワー・スリーエイトでは降り続く雪が数分間あがり、北都の夢が広がる札幌市の景観を楽しむ事ができました。夕方、我札幌エルムL Cのボーリング部会は新年大会を開催、参加者で熱戦を繰り広げ、L木村明宏がみごと優勝しました。L能登昭夫はおしくも準優勝でした。特別参加のHUI-YIは、部会からのお土産とL能登からピンク熊のぬいぐるみをプレゼントされ、幸せいっぱい、満面の笑みでした。しゃぶしゃぶの食べ方とラーメン作りの極意を部会長L伊藤和廣から伝授され、皆さんの歓迎に感謝しておりました。大変お世話になりました。

7日は、朝から更に雪でした。L石田誠の企画で、ラウンドワンに行きました。残念ながらL杉浦晃司は欠席となりましたが、知人の女性にも参加頂き、バスケットボール・野球・ローラー・テニス・バドミントン・バレーボール・ビリヤード・ダンス・卓球など、たっぷり汗をかくスポーツやゲームを楽しみました。ショベルアームゲームが得意なHUI-YIは、マスコットのゲットに夢中で挑戦、子ども的一面を覗かせていました。ラストナイト・パー



ティーンは札幌ビール園で、北海道の思い出にふけていました。

8日は朝から更に雪でした。高速道路が通行止めのため、6時発のJRで札幌を出発しました。寒くて眠たい旅立ちとなりました。しかし、千歳空港で皆と再会するとはっとした様子でした。出発ロビーに集合したY E委員、Y E生、ホストファミリーが、別れを惜しみ、無事の帰国を祈り、笑顔で記念撮影しました。L齊藤嘉昭から記念写真CDを受け取ってから、成田便に乗り込んでいきました。



帰国後、感謝のメールが有りました。明るく利口で機転が利くHUI-YI、我が家の一員として楽しい6日間を過ごしました。多くの皆様のご協力に感謝いたします。

冬期Y E生受入体験感想文

札幌ポブライオンズクラブ L寺木 憲夫

今期、冬期Y E来日生としてニュージーランドから19歳のトム・フレッチャー君を、1月2日から13日まで受け入れました。来日して3週間経過している事もあり、多少ホームシック気味なのかあまり元気がなく、おとなしく感じました。

3日はキャビネットの方々に4人のY E生と共に北海道神宮・宮の森シャントエを見学させて頂き、札幌まるやまライオンズクラブの赤松ライオンの蕎麦工房で蕎麦打ちを体験し、習字を習いました。真剣に取り組み、上手に出来ていたと思います。その後、ユートピアライオンズクラブの荒木ライオンのお宅でゲームなどをして楽しんだようです。

4日は平成8年度の幹事会メンバーがスケートに連れて行って下さり、新年交礼会では羽織袴を着せて頂きま

YE委員会だより

した。背も高く、とっても似合っていました。その後は毎日大雪で雪かきの手伝いもあって、あまり外出はできませんでしたが、6日は家内と佐藤 修ししと市内観光と買い物、7日は花市場でセリを見学しました。

8日はメンバーの米澤ライオンの店でメンバーの家族、奨学生の劉さん、札幌母子寡婦福祉連合の母子など総勢50名が集まり餅つきをし、紙切りのパフォーマンスを楽しみました。

9日は佐藤 修ライオンの家族と本藤ライオンと夕張マウントレースイでスキーをしました。彼は水上スキーが得意との事で、ボードより二本板が上手だったそうです。

帰国の前日には野幌の北海道開拓の村へ連れて行きましたが、全体に云えることは、おとなしい性格からか家ではベッドルームで過ごす時間が少し多かったような気がします。また、帰国時の千歳空港でみせた笑顔は、19歳とはいえ1か月近く自国を離れていた不安が解消された子供の笑顔をしていました。それを見た私たちも、思わず安堵の気持ちで一杯になりました。

やはり、知らない国で1か月近く暮らすということは、YE生にとっても大変な事なんだと改めて感じさせられた11日間でした。



冬期YE生を受け入れて

札幌東ライオンズクラブ L岩田加代子

私たち家族は、ホストファミリーとして昨年12月19日から29日まで、ペルーからのダナ・ロペスさんを受け入れました。

一昨年夏のYE生との楽しい思い出があったので、娘二人もダナさんの到着を心待ちにしています。到着ロビーに着いた彼女は、手荷物が出て来るのを待ちながら、私たちに手を振ってくれました。その姿に、「仲良くなれそうだ」と胸をなでおろしました。長い一人旅で人恋しかったのか、疲れも見せず夜中まで長女と話をしていたと、翌朝聞き体調を崩さないかと心配しましたが、「和食は大好き」と朝ご飯もしっかり食べて、笑顔を見せる彼女は、とても楽しそうでした。

初めて使う箸に悪戦苦闘、しかし用意したフォークやスプーンは使わず、一生懸命練習し、三日も過ぎれば、みそ汁の中に入った豆腐も掴めるようになりました。

彼女の自己紹介文に「語学を学ぶのが好き」とあったので、あまり英語の話せない私と次女は、日本語も少しは使えるだろうか…と期待しましたが、まだ勉強していないようで、すべて英語での会話となり苦労しました。

次女は、言葉など気にもせず、身振り手振りで積極的に彼女と接し、トランプゲームを教えて、彼女のほうから「一緒にやろう」とせがむほどお気に入りに入りました。

子どもたちが、楽しく笑う姿はほほえましく、国を越えた心の触れ合いを感じました。多様な価値観や文化を共有する素敵



な体験ができる日常生活の中で、少しでもお互いが理解できればと日々過ごしました。

冬の北海道で十日も過ごす(案内する)のは、なかなか大変で、長女の通う高校に同行させてもらったり、観光ボランティアガイドをお願いして道庁赤レンガ館時計台、テレビ塔と散策しましたが、彼女の興味は街を歩く若者たちに向けられ、「なぜあのような髪型をしているのか?」「どうしてあんな化粧をしているのか?」と、目につく物、不思議に思う事を次々と聞かれ説明するのが大変でした。私たちの説明不足や納得のいかない事があると、「OK」と途中で話を終わらせ無口になってしまったり、ホワイトイルミネーションを見せたいと連れ出した先で寒すぎる事に怒ってしまったり、上手に説明できない歯がゆさに悩む事もありました。結局、彼女のしたい事や行きたいお店に連れて行く事でご機嫌を取るような形になってしまった事が残念でした。

彼女の思うような生活が送れたのかわからないまま、第2ホストへの引き渡しとなり、心配でしたが、札幌東ライオンズクラブのご招待により参加させていただいた在札幌ライオンズクラブ新年交礼会で再会し彼女は、私たちを満面の笑みで迎えてくれ、今までの不安は吹き飛びました。

このように、色々な事がありました。家族の一員として彼女を迎える事が出来た事、また面倒な質問やお願いにも応じて下さいましたライオンズクラブの方々に感謝しております。ありがとうございます。

初めてのホームステイ

美唄ライオンズクラブ L高橋 幹夫

ライオンズが主催するYE生受け入れ事業は、2年前に娘が派遣でお世話になったことがきっかけで、冬期の受け入れを希望し、マレーシアより15歳の女性生徒を受け入れました。

2週間の受け入れで、どのような事がしてあげられるのか不安はあったものの、メンバーや受け入れ経験者のご協力を頂きながら家族全体で対応することがで



Liberty (自由) Intelligence (知性) Our (我々の) Nation's (国の) Safety (安全)
自由を守り、知性を重んじ、われわれの国の安全をはかる

委員会報告

きました。

雪に触れる経験がない国より来たことから、北海道の冬の自然を体験できる内容を中心に予定を組み対応しましたが、新鮮で豊富な食文化の体験がとても喜んでいました。すき焼きや天ぷら、ラーメンなど喜んで食べていましたが、特に魚介類を中心としたお寿司や刺身は、とても新鮮で美味しとお気に入りだったようでした。

また、動物の行動展示で有名な旭山動物園では、多くの動物を近くで見れることに感動して見ることができ、たくさん写真に納めていました。

会話によるコミュニケーションは、私どもも若干の英会話しかできず、真意を伝えることができない場面もありましたが、英会話のガイドブックや変換器などを活用し対応しました。

また、PCを活用し地元との対面などもしていたようで、ホームシックからか、少し元気が無かった時もありましたが、そんなときは、家族でゲームをしたり、ショッピングに出かけたりして気を紛らわしてあげました。

日常生活においては、生活習慣が違う中にある



このこれからの人生に少しでも役に立てばうれしく思います。



冬期Y E生受入れ事業を終えて

江別ライオンスクラブ
L 岩崎 勝

平成22年12月19日からの9日間、マレーシアからの2名の女子高校生を冬期Y E生として受入れ、12月27日に岩内LC・美唄LCへ無事に引き渡すことが出来ました。

今回のY E生受入れに当たり委員会では、諸般の事情を考慮して、『受入れるY E生は同性の2名とする、ホストファミリー任せとせず多くの会員が関わる』の二つの目標を決めて、理事会・例会に提案するとともに、キャビネットにも要望しました。

幸いキャビネットのご配慮でY E生は同国人の同性2名にして頂きましたし、クラブの皆様からも了承を得ることが出来まして、有



ても、炊事洗濯など率先してお手伝いして頂けるなど、日常における自分の役割をしっかり果たしていただくようです。

最後に、今回の受け入れで経験したことが、Y E生の

り難しくっております。

実施に当たりましては、キャビネットのY E委員長・副委員長様をはじめ、クラブ会員・会員ファミリーの皆様や、江別市民国際交流協会様にご協力を頂き、Y E生には、日本料理・餅つき・琴演奏・日本舞踊・お茶・スキー・温泉入浴等の体験、札幌・江別市内の見物、そして、同世代の高校生とのボーリング・カラオケ・ゲームなどでの交流など、相互の理解を深めてもらえるよう計画し、成功裡に事業を終えることが出来ました。

今は、ご協力を頂いた多くの皆様に心から感謝申し上げるとともに、Y E事業の目的達成にいささかでも貢献出来たのではないかと、自己満足を感じています。

また、今回の受入れ事業を通じて感じた事は、若者は若者同士の交流が一番であり、これを基本とした計画とするべきである、つくづく感じております。

そのような意味で、江別市民国際交流協会様が多忙の中、同世代の高校生とY E生との交流する機会を何度も設けて頂いたことに、心から感謝するとともに、今回得たノウハウ等を次期委員会等に引継いで行きたいと思っております。

以上。



北の咆哮

会員自由投稿

2011年 私のひとり言



札幌ポプライオンズクラブ
L 瀧澤 嘉門
元331-A地区万ハナー・331-A地区名誉顧問

殺伐としたニュースが飛び交い、政治の混乱や経済の低迷が閉塞感を招く昨今、不安や苦悩にかられ、挫折しそうになった時でも、そこに希望の光が見えれば前に向かって歩けるものです。

■「はいはい」の訳

赤ちゃんは生まれてから、大きくなるまでにくつかのイベントを経験します。最初の大きなイベントは「はいはい」でしょう。親はなんとなく手足をばたつかせる赤ちゃんを見て「はいはい」をうながすために目の前におもちゃを置いたり、離れたところから呼びかけたりします。それに赤ちゃんが応じて少しずつ前進すると、親はもう大騒ぎで写真やビデオ撮影ということでしょう。この「はいはい」は動物の四足歩行とは全く違います。動物は四足で歩くときに胸やお腹を引きずることは絶対にありません。馬、牛、犬などは生まれてすぐに四足で立ち上がり、すぐに歩き始めます。ところがヒトは生まれて半年近くたってからようやく「はいはい」をし、一年くらいでようやく歩き始めます。ヒトは他の動物に比べて全く未熟な状態で生まれます。未熟な赤ちゃんを育てるのは「偉大なる母」なのです。

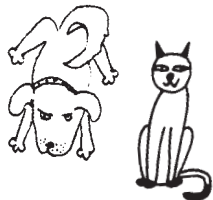
■金正日の料理人

2001年4月まで13年間、金正日の寿司職人として働いた藤本健二氏。日朝貿易商社からの依頼で北朝鮮へ。金正日専用の船で洋上パーティー

があり、「これ何だ」と聞かれ「トロです」と答えたのが初めての会話。トロ、ハマチ、カンパチ、シマアジと次々に「ワンモア」の声がかかった。寿司を握りながら、この人はずいぶん脂っこいものを好むんだなあと思った。北朝鮮内では2月16日は特別な日でもある金正日の誕生日であり、將軍の誕生を祝う催しが盛大に行われる。専用機の名は「216号」であり、高級車のナンバーも2-16から始まる。映画が好きで「男はつらいよ」シリーズは全部見ている。「座頭市の映画もよく観た」勝新太郎の殺陣はたいしたものだと言っていた。「007」シリーズもほとんど観ている。ビールは「アサヒ・スーパードライ」好き、日本酒は「菊正宗」が好きだった。「喜び組」だが北朝鮮では「喜ばせ組」と呼ばれ、女性が踊るのは本人が楽しいからという意味で夜の相手はさせられていない、金正日は幹部にまで「踊り子には絶対に触れてはいけない」と言っていた。食材で最もうまいのは「おこめ」日本の米よりうまい。クサヤと納豆は苦手、金正日が一人で何かを食べている姿を見たことがない、少人数でも5人以上だ。世界中の食材が並ぶ最高権力者の食卓、金正日はずばぬけた味覚の持ち主と言う。

■ペットブーム

日本の家庭で飼われている犬と猫は合わせて2770万匹（民間団体の推計）少子化の影響もあって愛情を注ぐ対象として伸びている。関連産業の売上は2兆円と



いう、愛犬用のセーター、誕生日を祝うペット用ケーキも売れているという。一方で悲しい現実もある。自治体などに持ち込まれ処分される数は年間30万匹を下らない。自分の運命を知っているのか、檻のな

かで処分を待つ姿は悲しい。「かわいい」と声を上げて飼ひ「飽きた」と言っては捨てる。命あるものを「物」のように扱う人間の傲慢さだ。

■サイパン・沖縄

戦争の終わり、昭和19年（1944）サイパン島の崖の上から次々に身を投げた女たち。美徳やら義理やら体裁やら、何やら……。サイパン島の悲劇、島には多くの日本人が移住していた。激しい戦いでは日本軍は壊滅する。巻き込まれた民間人の多くは沖縄からの移住者だった。犠牲者は6千人にのぼるとされる。そして1年後さらなる惨禍が沖縄を襲う。「あらゆる地獄を集めた」と形容した沖縄戦。民と軍合わせて20万人以上が命を落とした。どれも重い歴史だ。高齢化で当時を話せる人は減っている。逃避行、累々たる死者、集団自殺：世代から世代へ、戦争体験をどう手渡すか。沖縄の「慰霊の日」を沖縄だけのものとはせず、悲劇の奥から聞こえる教訓に耳を澄ましたい。

■山城新伍さん

一時は10数本のレギュラー番組を抱え、芸能界きっての顔だった俳優の山城新伍さんが09年8月12日、東京都内の特別養護老人ホームで亡くなった。享年70歳。糖尿病などを患い、晩年はひっそりと闘病生活を続けていた。訃報はすぐに親友で俳優の梅宮辰夫さん（71）にも伝えられ老人ホームへ駆けつけた。喉に痰が絡んで自分を出せず、医者も吸引器でも取れなかったという。糖尿病の影響で膝の具合が悪く、車椅子での暮らしだった。05年には糖尿病の悪化、「週刊女性」が自宅近くのデパートの食品売場に出没し、食堂で寿司やカレーを食べる孤独な暮らし、食べこぼしまみれ、徘徊の日々と報じた。山城さんの母さよさん

は、96歳にして今なお健在で、「そっとしておいてほしかった」と言った。

■ 医者の不養生

患者に養生を勧める立場の医者が自分では意外に不健康な生活をしていると言う。医者の中には喫煙習慣や大酒をなかなか改められないという人も多い、肥満・高脂血症・糖尿病・高血圧のメタボ体質も少なくない。医者は多忙で生活が不規則になりがちでストレスも多い。感染症の患者と接する医師もおり、病気をもらう機会も多い。一部の医者には医療へ過信があるとされている。医者自身の定期健康診断率は一般の人に比べてもかなり低い、医者の8割が酒や喫煙、メタボなど自分で不養生を自覚しているという。自分の健康を守るには医者よりも自分自身であるという。

■ 幕末の女たち

最後の将軍(15代将軍)

徳川慶喜(よしのぶ)の側室のお芳(よし)、男がだらしなさと身近な女性もだらしないう。

大阪から開陽丸で江戸に逃げてきた慶喜、お芳だけ連れて来た。そのお芳

はその後、若い男をつくって新潟へ逃げたという。それと正反対なのが13代将軍の家定、14代の家茂(いえもち)の正室は賢女だった。家定の正室が天璋院篤姫(あつひめ) 家茂の正室は和宮(かづのみや)と勝海舟の説では不仲ではなく大奥にいた女性たちに手許金なども分け与えてその後の面倒も見た。家茂は凄惨な虫歯もちだった、健康な歯が一本もなかったと言われている。一方の和宮



もけっこう虫歯があった。虫歯はキスでもうつると言います。それだけ仲が良かったも。坂本竜馬は女性にもてた、長崎で亀山社中をやっていた時長崎の芸妓と関係を持ち梅毒に感染したと、その後竜馬は頭が薄くて近眼はそのせいだと言われている。酒も強く、豪快なタイプ好きで「おりょう」もそんなタイプ。西郷隆盛は趣味が悪く、愛人は祇園の茶屋「奈良富」の仲居で、やけに太っているお虎、「西郷の豚姫」と呼ばれていた。大女で酒はべろっと一升のんだと言う。(幕末の悪女、賢女より)

■ 明治期の三越

基礎を築いたのは経営者の日比翁助は「商売繁昌(はんじょう)の秘訣」のなかで「ひやかし客を大切にせよ」と述べている。見るだけの客を気持ちよく帰せば「三越に初めて行ったが、待遇がよかったとか、買い物をしたのに丁寧に取り扱われたという評判を立てられる」。好印象を持った客はいずれ買い物に必ず来てくれるという読みだ。小売業やサービス業にとって怖いのは、不満があっても黙って立ち去る客である。何が気に入らないのか言ってくれないと改めようがない。二度と利用してくれないだけではなく口コミによる「あの店は駄目だ」という悪評が恐ろしい。その点常連客は有難い、多少のことは大目に見てくれるし、気がついた問題を指摘してくれる。だが上得意に頼りすぎると商売は拡大しないという。

■ 大原麗子さん

一人暮らしをしていた大原麗子さん(女優)が、東京・世田谷の自宅での孤独な病死(09年8月3日62歳)。東京生まれ、1964年NHKの新人オーディションに合格し、デビューした。以来、

「太陽にほえろ!」「獅子の時代」「春日局」など、出演したテレビドラマは枚挙にいとまがない。映画では「男はつらいよ・噂の寅次郎」「同・寅次郎真実一路」で寅さんのマドンナ役をつとめ、「大奥絵巻」「新・喜びも悲しみも幾歳月」などファンの心をしっかりとつかんだ。本道ゆかりの主な映画では「網走番外地・北海道編」などの番外地シリーズ、函館と札幌でロケした「居酒屋兆治」では、兆治(高倉健)にこがれる、さよ(大原)は家庭を捨て、ネオン街に身を潜めて札幌・ススキノのアパートでこと切れる。「おはん」などいづれも輝かしい代表作となった。29歳で発病した歩行障害など伴う難病に苦しんだ。苦悩を秘め女優として演じ切ることにかけた生涯だった。

■ シベリア抑留

1945(昭和20)年、旧ソ連(ロシア)は一方的に、日ソ不可侵条約を破棄、満州・サハリン・北方領土に進軍、日本人57万人の日本軍をシベリアに抑留した。各収容所には300人〜500人に分散して過酷な重労働をさせた(食事は黒パン)。飢えと寒さで5万5千人が死んだ。生きていけば、いつか日本に帰れるかも知れないと信じ、皆、その逆境に耐えた。旧ソ連は日本軍の階級制度を利用して、監視、監督をさせた。士官は3段寝床の一番上(暖かい)に、新兵は1番下(床の水が凍る)。思想教育もし、早く日本に帰りたければ勉強しろと指導した。スターリン・マルクス・レーニン主義は素晴らしいと洗脳。帰りたいが為の偽りはアフチブ(協力者・密告者)によって暴かれ日本人同士を敵対させた。シベリア抑留者は「言葉で言えるような生易しいことではない」と言い、あまり語りたがらなかったのは人間不信も原因だったのかも知れません。

北の咆哮

会員自由投稿

■薬の副作用

たいていの薬は副作用を持つ。血管が詰まって起きる脳梗塞の治療薬は脳出血のリスクをもたらす。抗がん剤はどうしても、がん細胞のみならず正常な細胞も攻撃してしまうので激しい副作用を伴うのが普通だ。毒と薬は表裏一体であり、古くから知られてきた。漢方薬の材料として猛毒トリカブトから作るし、モルヒネなどの麻薬はがんの疼痛治療になくはならないものとなっている。人間や動物の体には、毒や薬を受け付ける特別なタンパク質があり、毒だと判断すれば毒として働かし、薬だと認めれば体に有用となる。約500年前、スイスの医者パラケルススは「すべての物質は毒であり、毒と薬を分けるのは用量である」、薬は定められた用量をきちんと守ることが、出来るだけ副作用を引き出し、副作用を抑える。複数薬による副作用もあり、薬は逆読みでリスク（危険）と友人の医者は言った。

■トルコ風呂

80年代に「トルコ」という名前を「借用」していることが社会問題化して消滅した。今は「ソープランド」という名前が生まれた。トルコ風呂が日本で初めて紹介されたのは1932（昭和7）年、当時「上海」に女性がマッサージをする蒸し風呂が存在した。元々は中東の伝統的な公衆浴場で「垢（あか）すり」、これを真似たものが上海に出現、日本でも姿を見せるようになった。もっとも、本家の中東では男性客には男性、女性客には女性が付くのが原則。20世紀初頭まで中東随一の大国だった「トルコ」の名前を借用、業者はトルコ風呂と命名した。男性客に女性がサービスするのは日本流である。ソープランドは「風俗の王様」と称され2009（平成21）年、1249軒に達している。

■対人地雷

1975年（昭和50年）、カンボジアではポル・ポト政権のもと170万人が虐殺され、その後20年近くにわたる内戦、隣国タイに逃げ、再び帰ってきた時愛する古里は無数の地雷、今でもどこに地雷があるか分からない状況です。地雷による被害者の40%は子供です。地雷を踏んだ子供達の85%が病院に着く前に死んでしまいます。なぜ、子供の被害が多いのは、身長が低く軽いので爆発した瞬間に爆風によって吹き飛ばされてしまうから、そして多くの人達が学校に行っていない為に看板の文字が分からなくて「立ち入り禁止区域」に入ってしまうのです。現在世界で1日72人、20分に1人死亡して、その内90%は民間人と言われています。地雷を除去するのに人の手でやれば1千年かかるとも。今は地雷除去機で地雷除去に取り組んでいる。

■フーテンの寅さん

寅さんには、ずいぶん笑われ、泣かされた。映画第1作が公開されてから今日で（09年8月27日）40年になる。26年間に48作がつけられた。



寅さんが20年ぶりに柴又に帰郷するのが第1作の設定だった。妹「さくら」が印刷工の「博」と結婚する。博の父が出した名刺をよく見たら「北海道大学農学部名誉教授」と、どうやら博は道産子らしい。寅さんも道内を歩いた。函館でラーメンをすすった。網走で売れない歌手リリーと会った。奥尻で墓参りをした。知床で「男が女にほれるのに年なんか関係あるかい」と言って失恋した。札幌・大通公園などでは得意の口上で「商売」もした。柴又の団子屋という「帰る場所」が寅さんにはあった。本気でけんかをしても受け止めてもらえる下町の人情があった。

■子供への愛情

明治初め、日本各地を旅した英国の女性旅行家イサベラ・バードは「私はこれほど自分の子供を可愛がる人々を見たことがない」と、旅先の村の大人たちはいつも子供を抱き、背負い、遊び、連れ歩き、玩具を与えていた。他人の子にも愛情をもって世話をしている。父も母も自分の子に誇りをもってしている。特に父親たちが子連れで集まって自慢をする様子や夜、家の中の団らんをみたバードは親の愛情のこまやかに感心している。日本人が大事に子供を育てていることは幕末から明治に來日した欧米人の多くが驚いている。時が流れ、現代はどうだ。耳を塞ぎたくなる児童虐待が増える一方、1年に市町村が対応する児童虐待は5万件という。死に至った虐待100件以上、世界一の子供好きと目されたご先祖に恥ずかしい。

■王貞治さんの母

名を成した人の親なら、子育て自慢も許されよう。半世紀も「偉人の母」でありながら、控えめを通じた人。世界のホームラン王、王貞治さん（70）の母、登美（とみ）さんが108歳（2010・8）の天寿を全うした。世界記録を抜く76号が出た試合、グラウンドに招かれた老父母は質素な普段着、慣れぬ場で、はにかむ笑顔に人格者が巣立った家庭をみた。富山市で生まれた登美さんは10代半ばで東京に奉公にて、中国出身の王仕福（しふく）さんと出会う。差別の中どんな仕事もいとわぬ出稼ぎ労働者だった。若夫婦は屋台ごと継いだ下町の中華そば屋「五十番」に将来を賭けた。王さん曰く、「気は強いが、一面では優しく陽気な働き者」は、一途で不器用な夫を支え、小さな店を切り回した。夕飯は登美さんが作る栄養満点のおじやで、ふうふう食べたと言う。仮死状態で生まれ

た子は大きく育ち球史に名を刻む。現役引退時に「無学の上に特別な才能も何もない親のもとでここまでやってくれて有難う、母さんは幸せです」と。

■ 老いの定義

世界保健機構（WHO）の定義は高齢者とは65歳以上のこと。とはいえ、昨日まで64歳だったのに誕生日を迎えた今日から「高齢者」と言われてもピンとこないだろう。なぜ老化するのかが、学者の数だけ学説がある。「老」とは、加齢とともに、特に生殖期以降、肉体的、精神的に衰えるということという。女性は貧血気味で体内の鉄分が少ないので、男性の方が老化は早いと言われている。男女とも45〜50歳から老化が始まる。昔は老化という考えはなかった、野生動物は肉体的に衰えれば命を落とす。つまり、老化する暇もなく死に至る。江戸時代には「老」はいい意味だった。「年寄り」「老中」「大老」「老女」。1947〜49年生まれの子が「団塊世代」の65歳、老の定義はない。「高齢者」として頑張るって欲しいと思います。

■ 谷 啓さん

とぼけた間合いと、意味不明のギャグ。それを見事な芸にただけではなく、トロンボーン奏者としても一流だった。クレージーの音楽を支え、ショーの構成まで手掛けたという（犬塚さんと谷さん酒飲めず）。そのくせ妙に恥ずかしがり屋で、カーテンの陰で演奏したいと訴えたという話もある（自宅で階段を昇る際につまずいて転倒、脳挫傷で2010年9月11日死去78歳）。「ガチョーン」はマジックの中の掛け声だったらしい。ほかに「ピロリン」「ムヒョー」「ドビョーン」「谷だあ」等々。この人がやると不思議におかしかった。植木等さんの死が記憶に新しいのに、今度は谷さ

ん、高度成長期の明るさと切っても切れない、あの7人組は5人（ハナさん、植木さん、エーターロさん、安田さん、谷さん）が鬼籍に入った。右肩上がりの戦後を生きた人間のおいがする。

■ 北海道の昆布

昆布は免疫力を高め、血圧を下げる。中国から渡ってきた食品も多いが、逆に日本から中国に渡ったのは北海道の昆布。鎌倉時代中期以降、江戸時代は北前船で下関、大阪、九州、琉球王国（沖縄県）、清（中国）へと渡った。世界に昆布は10種類、そのうち北海道に20種類ある。日本国内で流通する昆布の実に90%以上が北海道。昆布は二酸化炭素を吸収して酸素を排出、海の森は魚介類のすみかにもなる。低カロリーなので「メタボ」や「成人病」など飽食の時代の救世主という。

■ ガンの転移

ガンになって、ガン治療（抗ガン剤、放射線、手術）をしますが、多くの人は数年後に「再発・転移」しましたと言われます。お医者さんは「ガンは手術できれいに取れました」と患者さんに言います。確かに患部のガン細胞は手術できれいに取れたのでしよう、しかしながら数年以内に違う場所で見つかることが多いようです。ガン細胞は普通の人も毎日20000個ぐらいい作られていて「血液」と一緒に全身に動いていて次に弱っている場所が増えて大きくなる。再発・転移でなく誰もが毎日、ガン細胞はつくられていて。ガンは低体温と便秘・白砂糖・ストレスが大好きだと知人の医者曰く。（玄米・野菜・海藻・豆類は最高）

■ 世界第2位の経済大国

日本が「世界第2位の経済大国」になったのは

1968年（昭和43年）のことだ。この年の国内総生産（GDP）は約51兆円。前年に比べ18・7%増という驚異的な高度成長を記録した。当時の道新は「日本が西独を抜いた」と一面の大見出しで報じていた。民間の住宅投資や企業の設備投資が「旺盛」でGDPを一気に押し上げた。記事はそう分析をしている。「ポリーナス到来。カラーテレビにしますか、マイカーにしますか」。そんな広告も多かった。各家庭にテレビや車を買ってあげることがこの時代の「豊かさ」の中身だった。80年代になるとバブル経済、89年景気の過熱はピークに達しバブルがはじけ、90年代から長いデフレ不況のトンネルに入った。日本は昨年（2010年）のGDPで中国に抜かれ42年間維持してきた第2位の席を明け渡す。

■ リポーター梨元さん

「恐縮です！」と芸能人にマイクを向ける突撃取材の芸能リポーター梨元さんが65歳で亡くなった（2010年8月）。梨さんのスクープ？



沢山ある中、一番の印象が強かったのは「大麻をパンツに隠した」（ハワイ成田）と話題になった勝新太郎さん（故人）。85年に起きたロス疑惑の三浦和義さん（故人）。松田聖子さんと神田正輝さんの結婚。暴力団抗争。豊田商事の会長刺殺事件など、芸能人の結婚、離婚、交際の噂を嗅ぎ付けると自宅のインターホンを鳴らしてげげとマイクを押し付ける。それが、そのままお茶の間に流され視聴率はうなぎ昇り。しかし、取材方法に「行き過ぎだ」という批判も出始める。各テレビ局のワイドショー番組も増え、70年代後半から80年代にかけて全盛の時代で、その先頭で体を

北の咆哮

会員自由投稿

張っていたのが梨元さんだった。

■世襲カリスマ

「将たること三世なる者は必ず敗れる」は「史記」にある言葉だ。秦の名將の孫・王離が趙の反乱軍を攻めた際、ある人が3代目の將軍はきつと敗れるという。王離は敵に捕らえられ、優勢だった秦軍は降伏してしまう。将も3代続けば、多くの人を殺した報いで災いが必ずあるというのだ。大将も3代目となれば苦勞知らずで、国を滅ぼすという。日本では「将は三代」のことわざ、「長者に三代なし」「売り家と書く三代目」のたぐいだ。さて、北朝鮮の金正日（キム ジョンイル）総書記は頼りとする中国の故事を知っているのか、後継者に三男正恩（ジョンウン）氏を人民軍の「大将」に任命した。20代で大将昇格、後継者の地位は事実上確定した。しかし、言うまでもなく金日成（イルソン）の孫にあたり3代にわたる世襲となる。過去2代の統治が残すのは長者の財産どころか今も国民の腹を満たせない経済と人権抑圧だ、「三代目」には手に余る負の遺産である。コリアレポート編集長辺真一、講演で曰く「金正日の死後3年〜5年で崩壊するでしょう」と言う。

■仲間

広辞苑によると「仲間」とは「ともに事をする人の集まり」とある。人と人のつながりが希薄となりつつある現代社会において「独りじゃない」を実感できる言葉です。北海道日本ハムファイターズに入団した早稲田大学の斉藤佑樹投手が、昨年（10年）の流行語特別賞に輝いた。受賞の言葉は東京六大学野球リーグ優勝、優勝決定戦後に語った「それは仲間です」久しぶりにさわやかな気分になりました。近年、地域でも職場でも仲間意識が薄くなり、

自己の権利だけを主張し、相手を攻撃する人が増えてきました。仲間を大切にしたいものです。

■うつ病

うつ病になる人は、とにかく「私なんて誰の役にも立っていない」「オレなんかいなくても誰も困らない」と自分の価値を低く見積もっている。「オレこそ日本で一番の重要人物」とばかりにふんぞり返る政治家も困るが、ここまで自信満々だとうつ病になりにくい。政治家がうつ病で長期休職という話は聞かない。マスコミからあれこれ批判されることにも全くめげない。「打たれるほどファイトがわく」なのか、ストレスをストレスと感じない人だけが政治家を目指すのか、政治の仕事をごなしているうちにタフな人格がつくられていくのか、おそらくその両方だろう。自分を「価値あるもの」という信念がうつ病にさせないだろう。

■中央大学学長

「竹の子はいっ竹になるのか考えてみてください、親より身長が高くなったから竹ではない、大学を卒業したのち社会に出て苦勞して竹になるものだ。だから大学の4年間は友達と大いに議論し、時にはケンカもし、そして学ぶものです。1本の竹を根からとって他に植えるとすぐに倒れてしまいます。しかし、竹は家族と同じファミリーでがっちりしている、地震や暴風雨にも強い。良きライバルに恵まれ、切磋琢磨し、一人前の成人の竹になるのだ」と。（入学式 学長挨拶 10・4・3）

■ジンギスカン

道内で初めて羊が飼われたのは米国から北海道に羊を連れて来た、安政4年（1857）今から

154年前、目的は食用ではなく羊毛のため。しかし、飼育に失敗。大正7年（1918）綿羊100万頭計画を開始、滝川や札幌・月寒などに（羊毛がなければ軍服が作れない）。農家にもっとたくさん羊を飼ってもらうため、毛だけでなく肉も利用できないだろうか……。政府は日本人の口に合う羊肉調理法を大学に研究してもらい、昭和6年（1931）「羊肉の網焼」から肉汁が落ちないよう鍋に。中国で日本人が食べた、モンゴルの英雄にちなみ「ジンギスカン」と名付けたと言われている。昭和28年（1953）野外で豪快に鍋を囲むジンギスカンの人気上昇、ビール園が食べ放題、観光名物に成長する。国内で消費する羊肉は（羊毛の需要の低下、道内の羊は激減）ほとんど現在はオーストラリアやニュージーランドからの輸入に頼っている。



■年長者

人は年をとるにしたがい多くのことに気付き、思いやりや、寛容の精神、忍耐の心など生まれ、形から心に入ると山登りと同じ、登るほど息が切れるが視野はますます広がる。日本は高学歴社会の人が多くなることにしたが、社会がどんどん悪くなって来た。特に政治家は最悪。理論家の2世の政治家が「親の七光り」で国家のリーダーになったところから日本の崩壊が始まったと言う人がいた。政治家には高学歴のエリートではなく、しっかりとした倫理観や奉仕の心を持った人が望まれます。「何を言っているか」ではなく、「何をやってたか」で選ばれるべき。将来を背負う子供たちに一日10分でも手伝い（奉仕）をさせ、心の偏差値を育ててもらいたいものです。人とのルール、親孝行、勤勉など社会の大人は手本を示すべきです。

■三つの格言

- (1) 受けた恩は石に刻め、掛けた情は水に流せ
- (2) 仕事は上見て励み、生活は下見て暮らせ
- (3) 朝は希望に起き、昼は努力に活き、夜は感謝に眠る

(1)と(2)について、一般的にこの逆の人が多い。つまり、受けた恩はすぐに忘れ、人に情け(物・心理面)を掛けたとき、いつまでも憶えていて、感謝の態度を示さないと不満に思う。実は人に情けを掛けることが出来るのは、自分がそれだけ幸せだからという。また(3)についても、どんなに辛い事、面白くないことがあっても、一晩寝たら、そういう辛い事は忘れ(反省は必要)希望をもって目覚め、一日精一杯努力する。夜、その日によいことあれば感謝し、悪いことがあってもこの程度で済んで有難うと思えば良い人生が送れると先輩曰く。

■笑は一番

泣いて暮らすのも一生、笑って過ごすのも一生、同じ過ごすなら笑って楽しく過ごしたいものです。先人曰く、「いつも笑顔で生きよ」「笑う門には福が来る」笑顔でいると知らず知らずのうちに友が増え、笑いが笑いを呼ぶ。怒ったら損をする。笑っていたら福の神に会えると言う。半信半疑でも笑って見せる。するとなんとなく心が晴々しく、元氣も勇氣も湧いてくると言う。笑顔を忘れない心、感謝の心を忘れず生きていけば、いつか幸せな人生と巡り合える。人との出会いを大切にすることで思いやりの心が生まれると言う。時代は進歩と変化を繰り返しても人の心はさほど変わらないものだと言う。

■脱北者

ひそかに北朝鮮から国外に逃れる脱北者は、毎

年数万人いるという。慢性的な食糧不足や経済の混乱で国境を越える人々が後を絶たない。だから強制送還となれば、嚴罰を含む過酷な運命が待ち受ける。「閉ざされた北朝鮮にも普通の人々が生活している」ネオンの光る平壤の街を離れると、どこまでも闇が広がっている。「金王朝」の後継者に決まった、金正恩(キム・ジョンウン)氏は、髪形や服装、太めの体形まで若いころの祖父・金主席をモデルにしているらしい。しかし、指導者のイメージに頼るだけでは未来は暗い。民に目を向け開かれた国を願う。2010年韓国国防白書では、朝鮮人民軍、陸軍102万人(特殊部隊20万人含)、海軍6万人、空軍11万人、計119万人。一方韓国軍は陸軍52万人、海軍6万8千人、空軍6万5千人の計65万3千人で北側の54%と発表。

■失敗

ある友人(社長)の話。私の人生の前半は失敗の連続でした。勉強が嫌いで受験に失敗。そのせいもあって、経営者になってからも失敗ばかり。自分の欲を抑えきれず、「信より利」を選び、高級外車に乗り、遊び、着飾りしてしまい、社員の人や、周りの人の幸せなど思っている振りばかり。そのせいで一人また一人と人が去って行き、倒産の危機になったこともありました。ある日、先輩経営者から「人生の失敗は再生の薬なんだよ。失敗に未来があるんだ。だから失敗に学び、明るく立ち上がらなさい」と。失敗は成功に近づいて行く道なんだ、この失敗を嘆き、愚痴り、後悔するより学ぶんだ。そうか失敗をバネにすればいいんだと頑張りました」と、会社も回復した。人の不幸は順調の時に決まるのではなく、失敗や逆境のときに決まる。順風で自分を見失い、逆境で自分に出会う。逆境でしか出会えない本当の自分。

エル・セブンの「お花見会」

エル・セブンの事務局長

池田 謙一

札幌時計台ライオンズクラブ所属

平成23年5月7日午後1時、エル・セブンは、今年も「お花見会」の開催を企画しました。昨年は小雨降る肌寒い日に円山公園にて「お花見会」を強行した経験から今年は予め空模様を怪しいときにはエル・セブンのメンバーの森政明宅に場所を移して実施することにしていました。

やはり、昨年同様今年も天候はパツとせず、予定通り当日は森宅に変更。L山口富雄ガバナー、L前川忠男キャビネット事務局長、L坂地俊雄ゾーンチェアパーソン(2R2Z)そしてL伊藤信賢元ガバナーにも特別参加いただき、L荒木順一実行委員長(札幌ユートピアLC)を先頭に総勢約20名が参加し、各メンバーの近況報告や



ガバナー、元ガバナーからの格調高いお話など頂きながらとても有意義な時間を過ごすことができました。天候はよくありませんでしたが、会場は熱気がいっぱい、肌寒さも吹き飛ばす元気いっぱいのお花見会となりました。

※「エル・セブ会」は、2006年～2007年の在札ライオンズクラブの合同幹事会から生まれたOB有志の会。現在会員25名。ライオンズクラブの横の連携と絆を強めるべく活動しております。

**CN20周年事業アクティビティ
第15回札幌大通ライオンズクラブ杯ハンディキャップスキーメモリアル大会兼
第31回北海道ハンディキャップスキー大会によせて**

スキー大会常任相談役 **野呂 幸司**

2011年3月20日(日)札幌テイネオリンピックピアスキーマ場にてハンディキャップスキー大会が和知拓海さんの選手宣誓で開始されました。前年の14回大会は春の嵐が吹き荒れリフトの運行ができず、やむなく中止になり残念な思いをしましたが、今年には快晴、風もなく2年越しの大会に参加選手の意気込みが伺えました。

1996年7月当時のクラブ会長「鉄川 昭から身体障害者のスキー大会を、会長スローガン「あしたの青少年に豊かな夢と希望を」のもと企画したい旨の相談を受けました。かつて私自身が参加した数多くの大会を振り返って、スキー大会の規模、ボランティアの内容、予算、そしてクラブ会員の認識度等から、当クラブが開催することは非常に困難



と思いましたが。しかし鉄川会長の決意はかたく、私と実行委員長の「中村誠也」、副委員長の「仙道正視」の3名は北海道ハンディキャップスキー協会の早水 潔顧問(故人)、小林俊勝会長、札幌スキー連盟の方々、テイネオリンピックの方々とも相談をかさねて、1997年3月20日テイネオリンピックスキー場聖火台コースにて、全道ハンディキャップスキー大会を開催する事が出来ました。

当初はこの大会1回限りの認識しかなく、成功裡に大会が終了しても、次回大会の事は複数クラブとの合同開催ではどうか、又あるクラブが周年記念事業として開催したい云々等の意見打診がありました。しかし当クラブとしては種々困難はあるが、この素

晴らしいアクティビティを継続事業として毎年開催する事にしたわけです。それは健康者の大会はいろいろあるが、不幸にしてハンディを持った人がそのハンディを克服してスキーに挑戦する大会が、当時としては本大会を含めて3大会しかありませんでした。それ故ハンディスキーヤーの参加意欲は非常に高く、全道各地から参加するメンバーが、又来年この大会で会いましょうという言葉が掛け合うのを聞いて、これこそ継続は力なりだと思いました。日常いろいろな所でハンディを意識する障害者が、その困難を乗り越えてスキー大会に参加し、又このスキー大会で会えるという事が一つの励みになったのです。素晴らしい事です。それ以来当クラブの創立記念大会として毎年開催してきました。

又第2回大会からは、私の大学山岳部の先輩が北海道札幌稲雲高等学校の校長として着任したので、さっそくノーマライゼーション教育の一環としてボランティアで大会運営に協力をお願いし今につながっています。

ここで我が国の身体障害者のスキーの歴史について振り返ると1979年山形の蔵王スキー場で第11回インタースキー大会が開催されました。この時三笠宮寛仁親王殿下がカナダで造られたアウトリガーを紹介したのです。(注 OutRigger=Out:外に出る。Rigger=補助)

それ以来二本足スキーも、一本足スキーも、両足欠損のチェアスキーも一気に普及したのです。最初アウトリガーでバランスをとりながらスキーを覚え、訓練によってその後ストックに切り変えたスキーヤーも沢山います。アウトリガーこそハンディスキーヤーの原点なのです。

さらにも一つは、1989年に国際パラリンピック委員会が創設され、さかのぼって1976年スウェー

デンのエーンシエルドスピークで開催された、第1回身体障害者冬季オリンピック大会を、パリンピックの第一回としたのです。パラとはラテン語の「もう一つ」という意味で、健常者のオリンピック、障害者のオリンピックとなり今日があるのです。

特に記憶に新しいのはライオンズクラブ主催の大会及び北海道ハンディキャップスキー大会主催の大会に参加して技術を研いた狩野亮君がカナダのバンクーバーで開催された第10回パリンピックでスーパー大回転で金メダル、滑降で銅メダル。森井大輝君がスーパー大回転で銅メダル、滑降で銀メダルを獲得しています。

さらに2011年2月2日から4日間、フランス・ランスで開かれた国際的障害者スポーツ連盟主催の「第3回アルペンスキー世界選手権大会」で本大会常連出場者である札幌市の田川聡史君が大回転とスーパー大回転の2種目で銅メダルを獲得しました。これらは本人の努力はもちろんであるが、本大会のような応援活動があったればこそ成果です。

又、当クラブ主催のハンディキャップスキー大会の歩みは別項にゆずるとして、障害があっても、不自由さがあっても、総ての人の人生は一回切りで、今持っている自分の能力を世のため、人のために生かしていくのが人生です。その意味で当クラブのスキー大会はまことに素晴らしく喜ばしい限りです。今まで多くの方々の善意と奉仕のご支援によってここまで歴史を刻みました。身障者の一人として心から感謝申し上げます。今後とも宜しく願ひ申し上げます。

又、キャビネット役員、身障者スキー連盟、テイエネオリンピアスタッフ、北海道札幌稲雲高等学校の先生・生徒、当クラブ会員・L L、会社員の応援、協力有り難うございました。

チャーターナイト20周年記念式典

式典実行委員長 L 岩波 剛

札幌大通ライオンズクラブ、チャーターナイト20周年記念式典を開催するにあたり、L山口富雄地区ガバナーを始め多数のご来賓の御出席を賜り、厚く御礼申し上げます。

当札幌大通ライオンズクラブは、「自由・創造・伝統」をクラブポリシーに掲げ早20周年を迎える事となりました。結成時のチャーターメンバーは50名にてスタートし、結成5周年時にはピークの65名の会員数が在籍しておりました。

こうしてチャーターナイト20周年という記念すべき時を迎える喜びと共に、ライオンズ及びクラブポリシーを踏まえ、当札幌大通ライオンズクラブが今の政治及び経済の不安定な環境の中、益々発展する事を切に望む次第でございます。

3月11日の東日本大震災で姉妹クラブである、郡山東ライオンズクラブが地震の影響で参加辞退の申し出により実行委員会と協議しました結果、この時期での祝賀会行事は自粛し、予算も最小限に抑えて剰余金を郡山東ライオンズクラブにお見舞い金、LCIF

に百万円を義捐金として出す事にいたしました。結成時より、331A地区各年度キャビネット、親クラブのアカシヤライオンズクラブ、2R1Zの各クラブ、並びに姉妹クラブの郡山東ライオンズクラブの皆様には、今日までの格段の御協力に感謝申し上げますと共に、今後尚一層のご指導・御支援を賜りますようお願い申し上げます。





札幌中央警察署長から感謝状

薬物乱用「ダメ。ゼッタイ。」のキャンペーンの一環であります「第2回薬物乱用防止ポスターコンクール」の展覧会を、3月4～6日まで札幌市民ギャラリーで開催しました。札幌中央警察署長の政田卓三警視正からは、「コンクールは、薬物根絶に向けて、市民の意識を高めた」として異例の感謝状を頂きました。

展覧会では、入賞作品58点を展示しました。壁に作品を張るのが、大変でした。作品の頭、間隔を揃えるために、サッポロシニアLCの会計で一級建築士のL松田純一が、スケールを使い指示、メンバーが手分けして張りました。4日午後1時から開会式を行い、お忙しい



正田警察署長を囲んで記念写真



展覧会を見る山口地区ガバナー

ところ駆けつけてくれた山口富雄地区ガバナーは「薬物乱用防止は、青少年の健全な育成を目指すライオンズクラブの重要なテーマです。展覧会を通して、薬物の恐ろしさが市民、子供に伝わって欲しい」と、挨拶しました。会場は、中心街から外れているため、入場者は少なかったですが、アイデアとメッセージ性に優れた作品に、訪れた人はしきりに感心していました。

3月7日～11日まで、中央警察署の1階で、最優秀と優秀賞の計8点の展覧会も開かれました。免許の更新に来た市民が、見つめておりました。感謝状の贈呈式は、9日に行われ、オーロラLCの見上弘明会長、シニアLCの佐藤邦子会長、市PTA協議会の山本清和会長の3人が受け取りました。

感謝状を頂き、メンバーにとって、次回以降のコンクール開催に向け大きな励みになります。今回のコンクールは、読売新聞に募集、入賞作品の決定、授賞式、市民ギャラリーの展覧会、感謝状贈呈式と5回記事が載りました。

新規入局の
クラブを
募集
しています。

現在入局のクラブ

- 札幌ライオンズクラブ
- 札幌中央ライオンズクラブ
- 札幌エルムライオンズクラブ
- 札幌アカシヤライオンズクラブ
- 札幌ポブラライオンズクラブ
- 札幌ライラックライオンズクラブ
- 札幌もいわライオンズクラブ
- 札幌クラークライオンズクラブ
- 札幌まるやまライオンズクラブ
- 札幌オーロラライオンズクラブ
- 札幌時計台ライオンズクラブ
- 札幌フロンティアライオンズクラブ
- 札幌グリーンライオンズクラブ

ライオンズクラブ在札合同事務局

〒064-0804

札幌市中央区南4条西3丁目 北星ビル5F

TEL (011) 221-0331 FAX (011) 221-3789



合同事務局運営委員会



手話小冊子1万冊の作成・頒布

L 池田 謙一

当クラブでは、社会福祉事業の一つとして手話小冊子の作成頒布事業を展開することとなりました。この事業は、当クラブの環境保全・社会福祉委員会（委員長L阿部敏則）が担当し、聴覚障害者と健常者とのコミュニケーションの実現をはかる第一歩として小冊子「初めての手話手帳〜基本編」1万冊を作成・頒布するというもの。

平成23年3月初めには作成を完了し、3月末ころから頒布を開始しました。現在までの主な頒布先は、ライオンズクラブ関係のほか、公益社団法人札幌聴覚障害者協会、札幌市役所本庁、各区役所、学校、病院などです。この小冊子は、挨拶、数や時間の表し方、日常生活でよく使う表現、緊急時の手話などが図示されていて、手話未経験者でもわかりやすい内容になっています。大口頒布先のひとつ札幌聴覚障害者協会の渋谷雄幸理事長からも「コンパクトで持ちやすく、便利です。」との太鼓判を押して頂きました（写真参照）。

ライオンズクラブの皆様には、キャビネットはもとより今回の331-A地区第57回地区年次大会参加者の皆様にも頒布し反響を見守っているところですが、当クラブとしては、今後この手話小冊子の頒布事業がきっかけとなって聴覚障害者への理解と交流の輪が広がることを切望しております。



創成川公園 狸二条広場に設置された時計塔

L 吉田 誠

我が札幌時計台LCがCN30周年を迎えたのは今から2年前2009年9月の事でした。

スポンサークラブの札幌クラークLCのメンバー様はじめ、多くのクラブの会員そして姉妹友好クラブの福岡南LC・台北東区LC・韓国独立門LCの皆様のご臨席を賜わり盛大に式典・懇親会が開催されました。

実行委員会と致しましては意義あるアクティビティを記念事業として実施致しましたが、その中に標題の創成川公園狸二条広場の完成を待って、札幌市に我がクラブの冠名ともなっている時計塔を寄贈する事になりました。実に2年掛かりの事業でしたが、ようやく今春完成し、去る5月21日札幌市は「ふれあいフェスタ」と銘打って上田市長をはじめ、関係者そして多くの寄贈者が出席してのオープニングセレモニーが挙行されました。

当日はあいにくの雨に見舞われましたが我がクラブも寄贈者として紹介されました。市民の新しい憩いの場としての狸二条広場に建つ時計塔は姉妹友好クラブとの合同アクティビティとして銘板にも明記されております。2年越しでようやく完成した記念事業となりました。ライオン各位にも大いに足を運んで頂き東京渋谷のハチ公前同様、待ち合わせ場所として利用していただければ札幌の新名所になるかもしれません。（チョット期待し過ぎですね）。





西美唄小で薬物乱用防止教室

薬物の恐ろしさを市内の小中学校の児童生徒に、理解して戴きたいと取り組んでいる、美唄ライオンズクラブの活動も、2010、2011年は、今回で3校目、1月26日、午後1時20分から西美唄小学校5年6年の18人を対象に行った。

12時45分に学校につき、校長室で学校の様子やライオンズについて懇談、担任の教諭が挨拶と準備のために校長室にきて山田LとDVについて打合せをする。メンバー一同教室に移動、教室には、18人の児童が姿勢よく私達を待っていてくれた。広瀬幹事の司会で、はじめに吉岡校長の挨拶。続いて、美唄ライオンズクラブ松岡達也会長が、ライオンズの



校長先生からのお話し



講師はL安藤

活動について解りやすく簡単に説明、講師を紹介、早速DVDの視聴に入る、約25分、終わって今回の講師、安藤ライオンが、「如何でした、感想か、感じたことを聞かせて欲しいな」と言う、真ん中の5年生が、サッと手を上げ「薬物は身体に悪い事が分りました。」と答える。他には、「と尋ねたが、挙手がない。前の女の子に、「貴方はどう思いましたか」と問うと、「脳が駄目になる事が分りました」と答えてくれた。そこで、講師は、黒板に大きく『脳』と書き、私達の脳は大切なもの、これがあるから「心」があり、意志や学習、運動ができ、未来を考えることができる。すなわち人間の人間たる所以で、最も大切なこと、誘われても簡単に使わない事、

家に帰り家族と今日の話をしてください、テキストの5ページ、7ページは、是非お父さんお母さんに見てもらいましょう。で学習を終える。その後、警察署生活安全課長の美唄での薬物乱用者の話、警察手帳を見せ、これをしっかり見て、何かあったときこの手帳のある人を確認して相談して。と話し、広瀬幹事の司会で今回の学習会を、締め括った。

(児童の感想)



昨年もこのような学習をしましたが、今年もこの教室を聞いてDVD、お話を聞いて、薬物は、恐いなと思いました。もし、誰かに誘われても、薬物乱用しないし、断る勇気をこれからどんどん強くしていきたいと思いました。また、こういう機会があったら、やっていただけとありがたいです。

齊藤 将椰

薬物についてのDVDを見て薬物について、いろいろなことがわかりました。DVDも子ども向けで、とてもわかりやすかったです。薬物などを、一回でも使うと、のうがはいされるといふことも初めてわかりました。薬物にはいろいろな種類があってもようがついているものもありました。こんなに種類があるとは思いませんでした。とても、とても勉強になりました。

伊東 亜美

江別市内5団体合同 第2回交流ボウリング大会開催

『われわれJAYCEEは、社会的・国家的・国際的な責任を自覚し：明るいつたかな社会を築きあげよう』（青年会議所綱領）

この句を目にし、記憶のなかに焼付いたある種の郷愁と感慨を抱く「青年会議所」出身者は数多いことであろう。

40歳で卒業した多くの会員は、ライオンズクラブまたロータリークラブ等で奉仕活動に参画し、指導的役割を果たし続けております。

今年度は市内奉仕団体交流ボウリング大会に「江別青年会議所」も参加し、5団体となり一大イベントとなりました。

このボウリング大会の発端は、昨年度、江別グリーンライオンズクラブ会長L藤井康昭が、



市内の奉仕団体が垣根を超えて交流する場を持つてうではないか、と提唱し、自から世話人役を務め、ライオンズ2クラブ・ロータリー2クラブの4クラブが参加して第1回合同ボウリング大会が催されたのが発端であります。

今年度は冒頭の「江別青年会議所」の参加により、交流大会は更に拡大しました。

今年度開催は、2月22日、市内の「原始林ボウル」で開催され、江別西RC（長谷川直紀会長）が幹事クラブをつとめました。

ボウリング参加者は、JC 8名、LC 10名、GLC 12名、RC 7名、西RC 5名の合計42名であった。その後の焼肉懇親会参加者23名で総計65名でした。

名で総計65名でした。

競技順位の個人は1位西RC、2位西RC、3位JC、4位江別LC（L佐々木正行）5位RC。団体賞は、1位西RC、2位RC、3位GLC、4位江別LC、5位JCであった。

青年会議所の若者が、高齢者に花を持たせてくれた粋な計らいであった。

大会後の交流会は盛大であった。表彰式と懇親会は、なごやかな中に華やいだ雰囲気、深め、5団体交流の目的は見事達せられた、これからもクラブ持回りで継続されることとありましょう。

最後に来年度は江別LCが世話役となります。目的たる「交流・親睦」も然ることながら、個人賞・団体賞ともに1位の獲得に向け、会員一同奮励努力せよと叱咤激励し、必勝の覚悟で競技に臨まんとするところであります。

覚悟で競技に臨まんとするところであります。



Liberty (自由) Intelligence (知性) Our (我々の) Nation's (国の) Safety (安全)
自由を守り、知性を重んじ、われわれの国の安全をはかる

札幌新星ライオンズクラブ認証



認証されて 札幌新星ライオンズクラブ

札幌新星ライオンズクラブ会長 L 原 孝男

40年の歴史を持つ札幌すずらんLCと、28年の歴史ある子クラブ札幌北斗LCは、会員数の減少により両クラブの将来について真剣に考え始めたのが2年前、各クラブ4名の合併検討委員を設け、水面下で会議を重ね、互いの例会日・理事会日が異なり会則やクラブ運営も多少違いがあり色々話をしメンバー全員で例会訪問を行い、例会とは別に、チャーターメンバー予定者の会を設け、月に1回2クラブ合同の会を開催し、親睦を深めて参りました。互いの顔と名前が少しずつ分かる様になりました。互いに楽しみになって、少しずつ打ち解け、1名もの退会者もなく皆でチャーターメンバーになろうと話し合い、2クラブ同時に発展的解散し新クラ

ブ結成が皆さんの心に近づいてきました。会員全員がチャーターメンバーであり、トランスフォーマーである。これは日本で始めての珍しいクラブ誕生だそうです。今期L山口地区ガバナー基本方針であります/時代にあった組織の再構築/絆を大切に/広い夢に沿い、今期キャビネット指導の下、全日本3733番目、331-A地区85番目のクラブとして、4月12日に結成会をシンブルに行わせて頂きました。この認証式も身近な方々をお呼びしてお披露目する事になりました。

札幌新星ライオンズクラブとして始めてのアクティビティーは、震災でお困りの方々へ赤字を通じて100万円・被災され札幌へ来られた方々

を支援する為札幌市へ100万円少しでもお力になりたいと寄贈させていただきました。この間、ご尽力頂きました地区ガバナーL山口を始め、キャビネット役員の皆様、スポンサークラブであります札幌ライオンズクラブに改めて感謝申し上げます。

今後我が札幌新星ライオンズクラブは、We Smileのもと、大きな絆と志を一つに一致団結して、社会奉仕活動に最善の努力をし地域に根ざしたライオンズクラブ活動に邁進する覚悟で御座います。

今後とも、皆様方より一層のご指導、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。





新入会員のご紹介

札幌北の杜ライオンズクラブ



さ さ き まさゆき
佐々木 正行 入会年月：2011年4月
スポンサー：本吉 定

- (有)エムシー建築企画 代表取締役
- 生年月日：1955年3月28日
- 勤務先住所
〒005-0022
札幌市南区真駒内柏丘2丁目9-21
- TEL：011-582-0066

サッポロシニアライオンズクラブ



よねざわ けいこ
米澤 恵子 入会年月：2011年3月
スポンサー：吉田 英則

- 生年月日：1939年5月7日

札幌北の杜ライオンズクラブ



は せ がわよくに
長谷川 吉邦 入会年月：2011年4月
スポンサー：佐々木政文

- ジャパンエレベーターサービス株式会社 北海道支社 北海道支社長
- 生年月日：1959年1月25日
- 勤務先住所
〒060-0061
札幌市中央区南1条西8丁目10-3 第28桂和ビル7階
- TEL：011-280-3222

札幌中島ライオンズクラブ



あさの もりみつ
浅野 盛光 入会年月：2011年3月
スポンサー：鶴嶋 浩二

- (株)ホットハウス 取締役
- 生年月日：1973年9月11日
- 勤務先住所
〒064-0808
札幌市中央区南8条西4丁目422番地5 グランパークビル3F
- TEL：011-211-1066

札幌クラークライオンズクラブ



た の きみひさ
田野 公久 入会年月：2011年3月
スポンサー：山口 富雄

- ポピー歯科クリニック 理事長
- 生年月日：1971年6月14日
- 勤務先住所
〒064-0924
札幌市中央区南24条西11丁目1-1
- TEL：011-562-4618

札幌中島ライオンズクラブ



せ ぐち ひろやす
瀬口 裕康 入会年月：2011年3月
スポンサー：新屋 雅良

- (株)ドゥーウェル 代表取締役
- 生年月日：1971年5月13日
- 勤務先住所
〒063-0061
札幌市西区西町北7丁目1-1
- TEL：011-215-5588

札幌時計台ライオンズクラブ



さ と う よしたか
佐藤 義孝 入会年月：2011年3月
スポンサー：伊藤 隆平

- 有限会社ジ・オーク 代表取締役
- 生年月日：1957年4月3日
- 勤務先住所
〒064-0913
札幌市中央区南13条西9丁目1-47
- TEL：011-563-3933

札幌すすきのライオンズクラブ



お が た のぶや
尾形 敦哉 入会年月：2011年3月
スポンサー：大久保日出男

- (有)北進設備工業 代表取締役
- 生年月日：1966年2月24日
- 勤務先住所
〒007-0826
札幌市東区東雁来6条2丁目3-14
- TEL：011-790-7195

札幌わかばライオンズクラブ



ふるやま なおき
古山 直樹 入会年月：2011年4月
スポンサー：武部 孝彦

- (株)ZEON industry 代表取締役
- 生年月日：1970年5月23日
- 勤務先住所
〒007-0839
札幌市東区北39条東2丁目1-1
- TEL：011-826-5092

札幌北の杜ライオンズクラブ



い し ま る ひろし
石丸 博 入会年月：2011年4月
スポンサー：岡 勉

- サッポロウエシマコーヒー株式会社 代表取締役社長
- 生年月日：1956年12月19日
- 勤務先住所
〒004-0005
札幌市厚別区厚別東5条1丁目4番26号
- TEL：011-807-1000(代)

札幌ポプラライオンズクラブ



かきうち たかし
垣内 隆 入会年月：2011年3月
スポンサー：土肥 豊

- (株)カスタム工業 代表取締役
- 生年月日：1951年1月27日
- 勤務先住所
〒003-0021
札幌市白石区栄通20丁目5-23
- TEL：011-852-9482

札幌北の杜ライオンズクラブ



さ く た よしき
作田 芳樹 入会年月：2011年4月
スポンサー：臼井 順一

- 医療法人 北碩会 北の台クリニック 事務長
- 生年月日：1957年5月21日
- 勤務先住所
〒061-1113
北広島市共栄町1丁目13番地2
- TEL：011-372-8811



新入会員のご紹介

札幌西ライオンズクラブ



はやし 林 **よしかず 義和** 入会年月：2011年4月
スポンサー：橋本 征男

- 日の出自動車興産(株) 専務取締役
- 生年月日：1950年12月26日
- 勤務先住所
〒063-0813
札幌市西区琴似3条2丁目1-13
- TEL：011-621-3173

札幌東ライオンズクラブ



おのづか 小野塚 **さとる 悟** 入会年月：2011年4月
スポンサー：藤井 則俊

- ルネッサンスサッポロホテル 副総支配人
- 生年月日：1961年8月13日
- 勤務先住所
〒062-0904
札幌市豊平区豊平4条1丁目1-1
- TEL：011-821-1111

美唄ライオンズクラブ



はら 原 **こうき 硬毅** 入会年月：2011年3月
スポンサー：安藤 淳

- 花柳鳴介舞踊道場 花柳流理事
- 生年月日：1939年3月3日
- 勤務先住所
〒108-0071
東京都港区白金台2-9-17
- TEL：03-3445-8100

札幌東ライオンズクラブ



さわや ひろし 澤谷 弘司 入会年月：2011年4月
スポンサー：庵原 宏章

- 一三北路(株) 代表取締役
- 生年月日：1937年7月4日
- 勤務先住所
〒002-8081
札幌市北区百合ヶ原6丁目1-6
- TEL：011-772-8668

三笠ライオンズクラブ



たかやま 高山 **かずお 和夫** 入会年月：2011年4月
スポンサー：永井 創

- 北海道リンクス(株) 代表取締役
- 生年月日：1940年8月20日
- 勤務先住所
〒079-0173
美唄市峰延原野2647
- TEL：0126-67-2234

札幌東ライオンズクラブ



まつだ ふさお 松田 総夫 入会年月：2011年4月
スポンサー：庵原 宏章

- (株)さくら総合M&Aセンター
- 生年月日：1938年2月18日
- 勤務先住所
〒060-0054
札幌市中央区南4条東3丁目19
- TEL：011-271-1419

岩見沢中央ライオンズクラブ



よしだ 吉田 **かつみ 克己** 入会年月：2011年2月
スポンサー：松村 敬一

- 札幌トヨタ自動車 支店長
- 生年月日：1950年10月21日
- 勤務先住所
〒068-0004
岩見沢市4条東14丁目1
- TEL：0126-22-3181

札幌ライラックライオンズクラブ



おく 奥 **かおる かおる** 入会年月：2011年5月
スポンサー：山谷 勝義

- 株式会社ワイズ・ワン 取締役
- 生年月日：1978年4月16日
- 勤務先住所
〒060-0061
札幌市中央区南1条西12丁目322 第2一条ビル4F
- TEL：011-211-4526

岩見沢メープルライオンズクラブ



たて 館 **ひでやす 秀康** 入会年月：2011年3月
スポンサー：平野 重義

- (有)館重機興業 取締役
- 生年月日：1960年4月21日
- 勤務先住所
〒068-0057
岩見沢市北本町東4丁目4-27
- TEL：0126-25-5475

札幌西ライオンズクラブ



いとう 伊藤 **まさみ 雅實** 入会年月：2011年3月
スポンサー：後藤田栄貴

- 啓西薬局 薬剤師
- 生年月日：1947年2月18日
- 勤務先住所
〒063-0033
札幌市西区西野3条9丁目10-38
- TEL：011-666-2273

岩見沢メープルライオンズクラブ



にいかわ 新川 **けいじ 恵司** 入会年月：2011年4月
スポンサー：岸 英夫

- 新川労務行政事務所 所長
- 生年月日：1948年6月30日
- 勤務先住所
〒068-0006
岩見沢市6条東14丁目5番地5
- TEL：0126-24-6789

札幌西ライオンズクラブ



いたがき 板垣 **かつあき 勝昭** 入会年月：2011年4月
スポンサー：木村 和則

- 山新建設(株) 代表取締役
- 生年月日：1966年7月10日
- 勤務先住所
〒060-0061
札幌市中央区南1条西13丁目4-52
- TEL：011-207-5500



新入会員のご紹介

恵庭ライオンズクラブ



いまい ゆういち
今井 雄一 入会年月：2011年3月
スポンサー：荒木 数男

- 今井牧場 代表
- 生年月日：1939年12月15日
- 勤務先住所
〒061-1364
恵庭市下島松322-1
- TEL：0123-37-0515

滝川ライオンズクラブ



さえき けんいち
佐伯 憲一 入会年月：2011年4月
スポンサー：菊地 崇之

- 朝日生命 所長
- 生年月日：1968年5月14日
- 勤務先住所
〒073-0022
滝川市大町3-1-3
- TEL：0125-22-3260

恵庭ライオンズクラブ



うちやま わたり
内山 亘理 入会年月：2011年3月
スポンサー：寺下 裕己

- 内山山新聞店 代表取締役
- 生年月日：1970年8月11日
- 勤務先住所
〒061-1353
恵庭市島松本町1丁目12-5
- TEL：0123-36-8153

江別ライオンズクラブ



たがわ よしゆき
田川 佳之 入会年月：2011年1月
スポンサー：細田 富夫

- 札幌トヨペット江別店 店長
- 生年月日：1962年10月25日
- 勤務先住所
〒067-0073
江別市弥生町6-1
- TEL：011-382-5511

江別ライオンズクラブ



しまざき まさとし
島崎 正年 入会年月：2011年3月
スポンサー：野呂 英行

- のっぽろ駅前薬局 代表
- 生年月日：1957年1月14日
- 勤務先住所
〒069-0813
江別市野幌町53-30
- TEL：011-391-5825



[札幌ライオンズクラブ]
はきもと かずお
萩本 和夫

ライオン歴
1967年7月
302-E3地区(北海道地区)地区副幹事
1974年7月
302E-C地区(北海道J・C)
キャビネット幹事
1975年7月
札幌LC会長
1989年7月
331-A地区
第1Rリジョン・チェアマン
1990年7月
地区ガバナー
1991年7月
地区名誉顧問会議長
1992年～現在
元地区ガバナー・地区名誉顧問

2011年5月13日 享年92歳



[札幌ノースライオンズクラブ]
しみず こうじ
清水 幸治

ライオン歴
1999年7月
アカシヤLC社会福祉委員
2000年7月
アカシヤLC出席促進委員
2001年7月
アカシヤLC公衆安全委員長
2002年7月
331-A地区キャビネット副幹事
2002年7月
アカシヤLCテールツイスター
2004年7月
札幌ノースLC第二副会長
2005年7月
札幌ノースLC第一副会長
2006年7月
札幌ノースLC会長
2008年7月
札幌ノースLC会員理事
2009年7月
札幌ノースLC一年理事

2011年4月5日 享年67歳



[赤平ライオンズクラブ]
かわい こうすけ
川合 功祐

ライオン歴
2007年7月
赤平LCライオンテーマ
2008年7月
赤平LC会員親睦委員長
2009年7月
赤平LC副ライオンテーマ
2010年7月
赤平LC会計

2011年4月13日 享年67歳



[札幌白石ライオンズクラブ]
たけだ たもつ
武田 寿

ライオン歴
1987年12月
札幌白石LC入会
1995年7月
札幌白石LC幹事
1998年7月
札幌白石LC会長

2011年5月23日 享年73歳



[月形ライオンズクラブ]
なかじま かんゆう
中嶋 観雄

ライオン歴
月形LC第47代 幹事

2011年5月27日 享年60歳

訃報

心よりご冥福を
お祈り申し上げます



会員動向・アクティビティ活動状況

■ 会員動向

		331-A地区						合計
		1 R	2 R	3 R	4 R	5 R	6 R	
期首	L C 数	14	16	12	11	15	8	76
	会員数	478	582	380	336	484	325	2,585
	内、家族会員数	13	14	13	6	9	0	55
2月末	L C 数	13	16	12	11	15	8	75
	会員数	473	577	336	344	490	321	2,541
	内、家族会員数	16	13	13	6	9	0	57
3月末	L C 数	13	16	11	11	15	8	74
	会員数	470	566	337	344	488	324	2,529
	内、家族会員数	16	13	13	6	9	0	57
4月末	L C 数	13	16	11	11	15	8	74
	会員数	465	563	339	340	489	322	2,518
	内、家族会員数	16	13	9	6	9	0	53
期首～4月末会員増減数		13	19	41	▲ 4	▲ 5	3	67

■ アクティビティ活動状況

	2月計		3月計		4月計		今期累計	
金額アクティビティ	88件	9,843,494円	186件	30,186,506円	60件	12,056,414円	1083件	116,470,432円
事業資金獲得	0件	0円	5件	1,364,171円	3件	114,179円	51件	9,686,339円
労力アクティビティ	89件	4,189.00H	70件	4,347.5H	51件	3,386H	920件	42,113.1H
献血	46件	430,602cc	10件	291,200cc	11件	251,000cc	161件	3,116,402cc
アイバンク登録者		1人		0人		0人		116人
角膜提供者		0人		0人		0人		0人
薬物乱用防止教室 開催件数		5件		3件		0件		47件
薬物乱用防止教室 動員数		318名		237名		0名		6764名
使用済み切手		362,933枚		564,209枚		181,171枚		2,658,086枚
書き損じ葉書		279枚		4,060枚		124枚		7,394枚
使用済みプリカ		2,918枚		20,752枚		352枚		54,548枚
例会、アクティビティ等の招待者数		170名		174名		88名		2677名

■ M・J・F (メルビン・ジョーンズ・フェロー)

LCIF 拠金集計表	2月分合計	クラブ数： 11クラブ	人数： 7人	金額： 574,000円
	3月分合計	クラブ数： 10クラブ	人数： 73人	金額： 5,986,000円
	4月分合計	クラブ数： 16クラブ	人数： 23人	金額： 1,886,000円
	今期累計	クラブ数： 108クラブ	人数： 193人	金額： 16,046,000円

*詳細は次頁に掲載しております。

ライオンズクラブ国際協会331-A地区ホームページ

URL <http://www.lc331-a.jp>

キャビネット事務局Eメールアドレス

E-mail info@lc331-a.jp

会員動向・アクティビティ活動状況の最新情報は上記のURLをご覧ください。



会員動向・アクティビティ活動状況

M・J・F (メルビン・ジョーンズ・フェロー)

【2月分】

L田中 義一 (札幌南LC)	13回目	L庵原 宏章 (札幌東LC)	20・21回目
L高瀬 忠幸 (札幌南LC)	8回目	L柏崎 昭朗 (岩見沢中央LC)	12回目
L前田 伏樹 (札幌グリーンLC)	3回目	L島田 道朗 (恵庭LC)	6回目

【3月分】

L谷 征輝 (札幌LC)	3回目	L西濱 克也 (札幌アカシヤLC)	2回目
L桶谷 賢知 (札幌フロンティアLC)	29回目	L川谷 厚司 (札幌アカシヤLC)	2回目
L安部 成志 (札幌フロンティアLC)	19回目	L五十嵐良昭 (札幌アカシヤLC)	2回目
L置田 陽一 (札幌フロンティアLC)	16回目	L吉川 直宏 (札幌アカシヤLC)	2回目
L河合 芳夫 (札幌フロンティアLC)	2回目	L山田 一夫 (札幌アカシヤLC)	2回目
L佐々木秀勝 (札幌フロンティアLC)	5回目	L鈴木 正宣 (札幌アカシヤLC)	2回目
L高野賢次郎 (札幌フロンティアLC)	9回目	L須ヶ牟田政則 (札幌アカシヤLC)	2回目
L滝沢 俊行 (札幌フロンティアLC)	5回目	L佐藤 有一 (札幌アカシヤLC)	2回目
L中崎 義昭 (札幌フロンティアLC)	12回目	L西村 清隆 (札幌アカシヤLC)	2回目
L古口 聡 (札幌フロンティアLC)	19回目	L前田 卓哉 (札幌アカシヤLC)	2回目
L本間 睦郎 (札幌フロンティアLC)	19回目	L石山 勇司 (札幌アカシヤLC)	2回目
L小野 浩司 (札幌フロンティアLC)	2回目	L荒谷 治 (札幌アカシヤLC)	2回目
L高橋 謙誠 (札幌フロンティアLC)	2回目	L姥澤 克文 (札幌アカシヤLC)	2回目
L伊山実生男 (札幌フロンティアLC)	2回目	L片山 哲男 (札幌アカシヤLC)	2回目
L鶴嶋 浩二 (札幌中島LC)	18回目	L五十嵐成男 (札幌アカシヤLC)	2回目
L小屋 英明 (札幌もいわLC)	3回目	L山口 憲一 (札幌アカシヤLC)	2回目
L坂野 敏彦 (札幌まるやまLC)	1回目	L瀨川 英之 (札幌アカシヤLC)	2回目
L徳川 真智 (札幌バイオニアLC)	5回目	L門野 豊 (札幌アカシヤLC)	2回目
L西村 建二 (札幌グリーンLC)	8回目	L西川 達弘 (札幌アカシヤLC)	1・2回目
L東 安行 (美唄LC)	2回目	L大本 衛 (札幌アカシヤLC)	1・2回目
L古谷野 環 (美唄LC)	15回目	L小路 美由紀 (札幌アカシヤLC)	1・2回目
L松岡 達也 (美唄LC)	1回目	L坂田 靖 (札幌アカシヤLC)	1・2回目
L佐藤 勇治 (美唄LC)	1回目	L村重 欣延 (札幌アカシヤLC)	1・2回目
L原 硬毅 (美唄LC)	1回目	L馳 東作 (札幌アカシヤLC)	1・2回目
L上坂 隆一 (月形LC)	1回目	L向原 邦彦 (札幌アカシヤLC)	1・2回目
札幌アカシヤLC200%MJF			
L横山 仁 (札幌アカシヤLC)	2回目	L小野寺 勝 (札幌アカシヤLC)	1・2回目
L杉本 智 (札幌アカシヤLC)	2回目	L杉森 泰子 (札幌アカシヤLC)	1・2回目
L外岡 尚清 (札幌アカシヤLC)	2回目	L白戸 和充 (札幌アカシヤLC)	1・2回目
L斉木 登 (札幌アカシヤLC)	2回目	L鈴木 實春 (札幌アカシヤLC)	2回目
L小川 東洲 (札幌アカシヤLC)	2回目	L細川 宗徳 (札幌アカシヤLC)	1・2回目
		L前谷 辰夫 (札幌アカシヤLC)	1・2回目

【4月分】

L会田 満雄 (札幌フロンティアLC)	9回目	L橋本 征男 (札幌西LC)	4回目
L山室 吉博 (札幌フロンティアLC)	16回目	L渡辺 修 (美唄LC)	15回目
L福本 雅之 (札幌まるやまLC)	2回目	L柏崎 昭朗 (岩見沢中央LC)	13回目
L山口 富雄 (札幌クラークLC)	14・15回目	L竹内 文英 (岩見沢中央LC)	2回目
L比護 了造 (札幌グリーンLC)	11回目	L定岡 孝明 (深川LC)	20回目
L高野 倫行 (札幌グリーンLC)	44回目	L宮脇 寛海 (恵庭LC)	14～23回目



株式会社 北海道メディカル

取締役会長 村太 悦郎

〒065-0026 札幌市東区北26東6丁目2-1

TEL : 011-712-0381 FAX : 011-712-0084

2 R 2 Z 札幌時計台ライオンズクラブ

P R 委 員 会

一年間皆様の御協力に感謝致します。
 どうもありがとうございました。



山口キャビネット最後のエコー誌となりました。一年間のご協力・ご支援・ご理解に委員会一同厚く御礼申し上げます。

PRライオンズ情報委員長
 山田 清司

取材を通じて4R、5R、6Rの真摯なライオンズ活動に感銘を受けた1年でした。知り合った方々へ御礼と感謝を申し上げます。

PRライオンズ情報副委員長
 大笹 進

沢山の方々と出会い・ふれあうことができ、とても意義な1年でした。ご協力いただきました皆様、誠にありがとうございました。

地区IT委員長
 村太 悦郎

過ぎてしまえば、「あっ」という間の1年間でした。編集にご協力頂いた皆様、心から御礼申し上げます。

地区IT副委員長
 林下 英二

エコー誌の作成・編集という経験をさせていただくなかで、皆様のL魂と篤い思いを教えてくださいました、有難うございました。

PRライオンズ情報委員
 大和 久男

1年間、会員の皆様のご協力に感謝いたします。私個人と致しましても、いろいろと経験させて頂き、ありがとうございました。

PRライオンズ情報委員
 野澤 強

キャビネットのPR委員として一年間過ごせた事、非常に名誉な事だったなぁと今になって気付きました。ライオンズマンとして勉強させて頂き感謝します。

PRライオンズ情報委員
 浮田 俊也

ライオンズクラブに入会させていただき日も浅い中、PR誌の発刊に携わり貴重な経験をさせていただきました。

PRライオンズ情報委員
 伊藤芳比呂



今号をもちまして今期最後のECHO誌となりました。ご投稿頂きました皆様には心より御礼申し上げます。また、掲載に際しまして紙幅の都合上、やむを得ず割愛させて頂いたお写真、編集上の誤記等も多々あり、大変ご迷惑をお掛けしました事、この場をお借りしてお詫び申し上げます。一年間ご愛読頂きまして誠に有難うございました。

笑顔と会話が弾む、
とびきりの時間。



8F ツインルーム



パーティに華を添える料理とともに、
お迎えする全てのお客様に、まごころを持って最高のおもてなしをいたします。



大宴会場「パークホール」



中宴会場「光華」



中宴会場「エメラルド」

着席のディナー形式で1,000名様のご収容可能な大宴会場をはじめ、披露宴、謝恩会、同窓会等のご宴会や式典など多目的にご利用いただける中小宴会場もご用意しております。

札幌パークホテル

〒064-8589 札幌市中央区南10条西3丁目 T 011-511-3131 F 011-531-8522
S10, W3, Chuo-ku, Sapporo, Hokkaido 064-8589 www.park1964.com

SAPPORO PARK HOTEL

GRANVISTA SELECTED HOTELS



安らぎと安心 上質のホスピタリティをお届けします。



展示会、セミナー、パーティーなど
さまざまな催しに対応する各種ホールや
和食・中華・鉄板焼など目的に合わせてご利用できる
レストランをご用意しております。

- ◆客室292室 ◆コンベンションホール
- ◆レストラン・バー ◆ショッピングプラザ

ロイトン札幌

〒060-0001 札幌市中央区北1条西11丁目 TEL.011-271-2711 <http://www.daiwaresort.co.jp/royton/>